

高齢者生きがい施設整備基本構想

平成21年2月

岡 崎 市

高齢者生きがい施設整備基本構想



平成 2 1 年 2 月

目 次

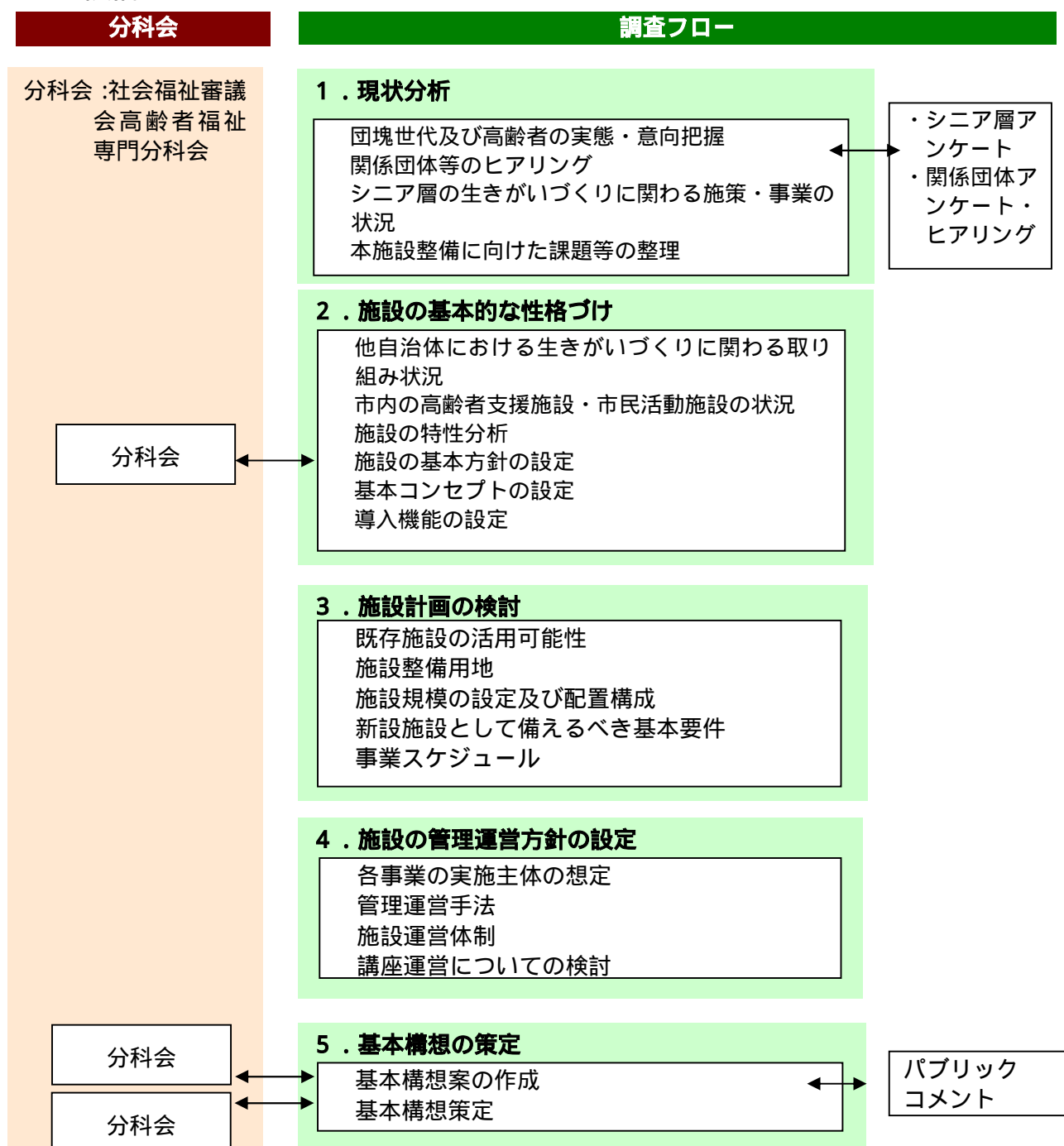
序．高齢者生きがい施設整備基本構想策定について	1
1．本業務の目的.....	1
2．検討フロー	1
．現況分析	2
1．団塊世代及び高齢者の実態・意向把握	2
2．関係団体等のヒアリング	12
3．シニア層の生きがいづくりに関わる施策・事業の状況.....	17
4．本施設整備に向けた課題等の整理.....	23
．施設の基本的な性格付け	25
1．他自治体における生きがいづくり支援に関わる取り組み状況.....	25
2．市内の高齢者支援施設・市民活動施設の状況.....	30
3．施設の特性分析.....	32
4．施設の基本方針の設定.....	34
5．基本コンセプトの設定.....	35
6．導入機能の設定.....	36
．施設計画の検討	40
1．既存施設の活用可能性.....	40
2．施設整備用地.....	42
3．施設規模の設定及び配置構成.....	45
4．新設施設として備えるべき基本要件.....	48
5．事業スケジュール.....	50
．施設の管理運営方針の設定	51
1．各事業の実施主体の想定.....	51
2．管理運営手法.....	52
3．施設運営体制.....	54
4．講座運営についての検討	55

序 . 高齢者生きがい施設整備基本構想策定について

1 . 本業務の目的

高齢者生きがい施設は、高齢層の市民が生きがいを感じ、充実した人生を送るために、「就労」、「社会参加」、「生きがい」、「健康づくり」を支援する施設として整備を検討するものである。そのため、本業務は、「就労」、「社会参加」、「生きがい」、「健康づくり」の4点を柱とした施設の基本コンセプトの検討、施設の役割、導入する機能、必要な施設規模、事業化計画の具体的な検討を行い、団塊世代以降の高齢者層（以下、「シニア層」とする。）の方々の意向や関係団体等の意見を取り入れながら、施設整備の基本構想を策定することを目的とする。

2 . 検討フロー



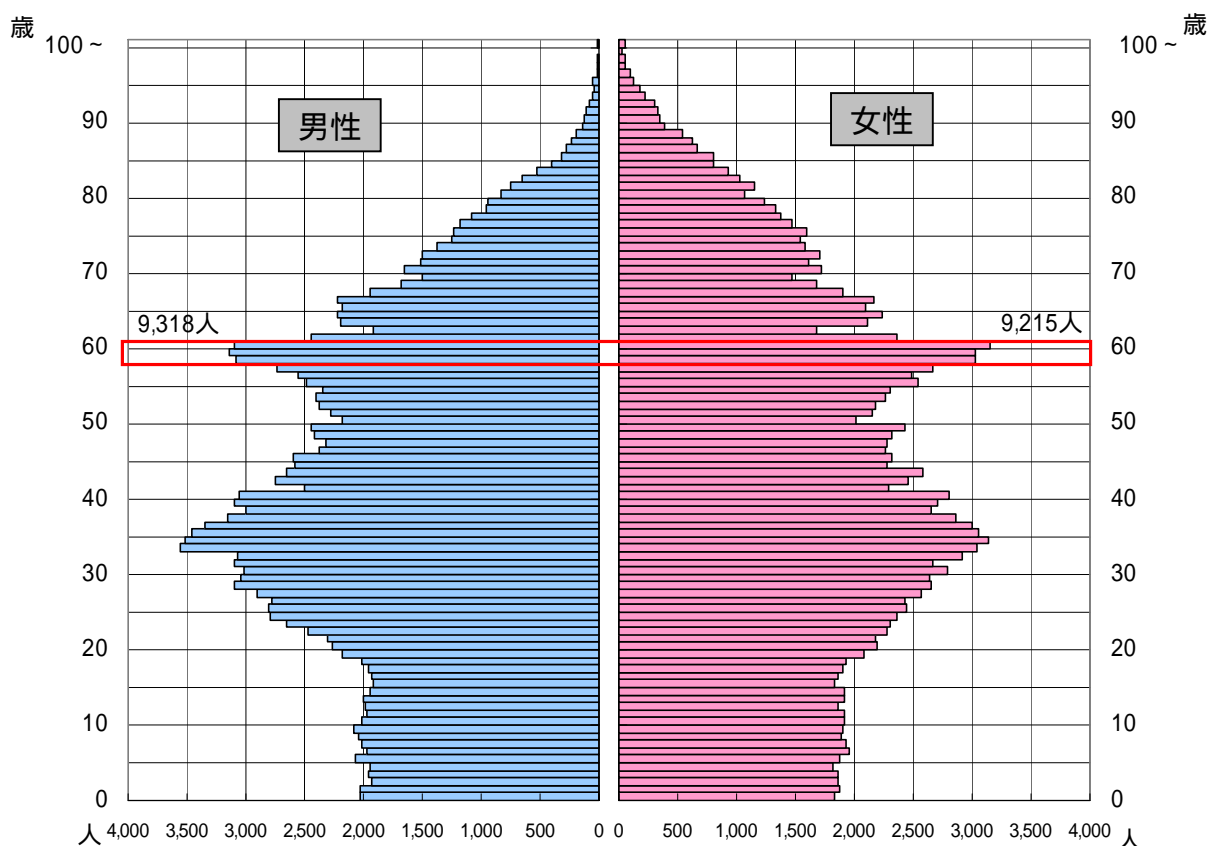
. 現況分析

1 . 団塊世代及び高齢者の実態・意向把握

1-1.岡崎市における団塊世代及び高齢者の状況

岡崎市では、65 歳以上の高齢者が、約 61,400 人(H20.4.1 現在、高齢化率約 16%) あり、今後、高齢者層となる団塊世代が約 18,500 人 (H20.4.1 現在の 58 歳 ~ 60 歳) となっている。

特に、定年退職が始まっている団塊世代には、今後、現在の高齢層と合わせて、地域社会や地域活動を支える人材として活躍してもらうことなどが求められる。



出典: 岡崎市企画課

1-2. 団塊世代及び高齢者の意向把握

(1) アンケート調査の概要

高齢者生きがい施設整備に向けて、シニア層の方々の就労に関する意向、社会参加への意向、これからの生活に対する意向等を把握するためにアンケート調査を実施した。

アンケート対象

市内に居住する満 55 歳から 69 歳までの方の中から、1,000 人程度を無作為に住民基本台帳から抽出し実施した。

アンケート実施方法

実施時期：平成20年7月23日～平成20年8月5日

実施方法：郵送配布、郵送回収

アンケート内容

- ・ 回答者ご自身のことについて（回答者の属性）
- ・ 就労に関することについて
- ・ シルバー人材センターについて
- ・ 老人クラブについて
- ・ これからの生き方等について

回収率

総配布数：998通（総抽出数1,004通から住所不明での返送6通を除く）

回収数：419通

回収率：41.98%

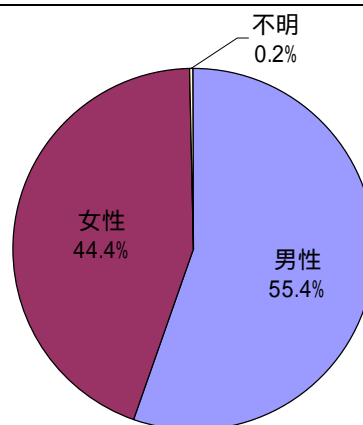
（2）アンケート調査の結果概要

回答者の属性

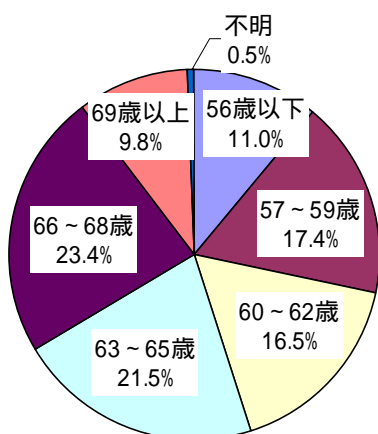
回答者の属性としては、男性が全体の55.4%とやや多い。年齢としては、各年代を同程度となるように抽出していることもあり、大きな差はないが60歳代後半の方が比較的多くなっている。

回答者の岡崎市での居住年数は、約75%の方が30年以上居住しており、回答者のほとんどが、人生の大半を岡崎で暮らしている方が分かる。

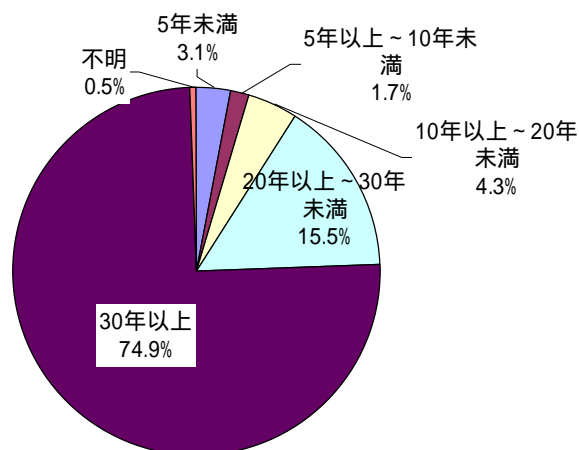
1. 回答者の性別 (SA: 419)



2. 回答者の年齢 (SA: 419)



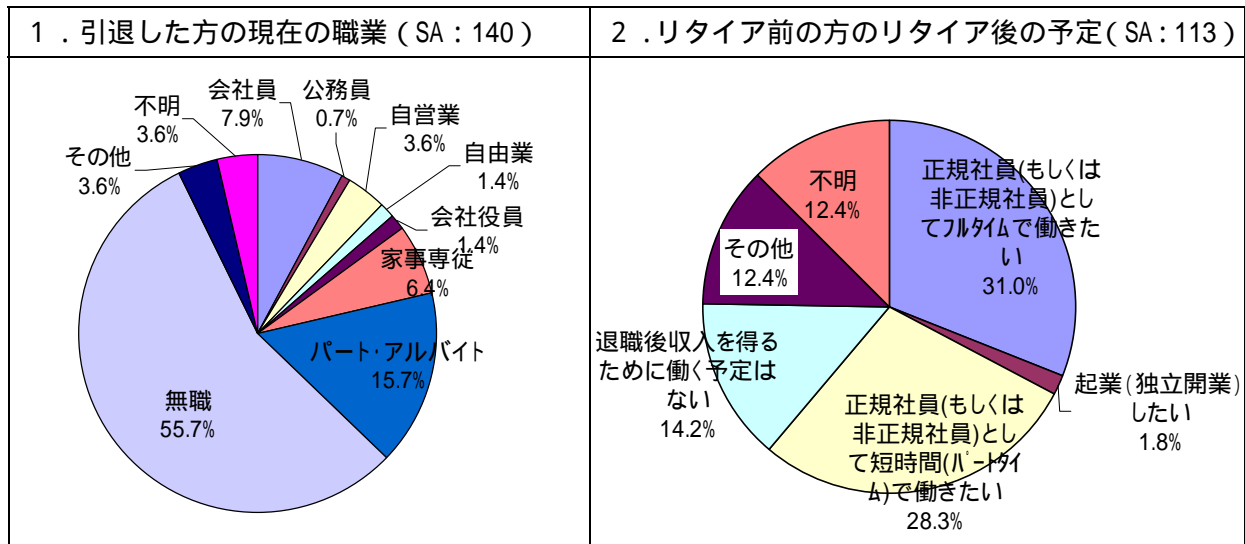
3. 回答者の居住年数 (SA: 419)



就労状況・就労意向について

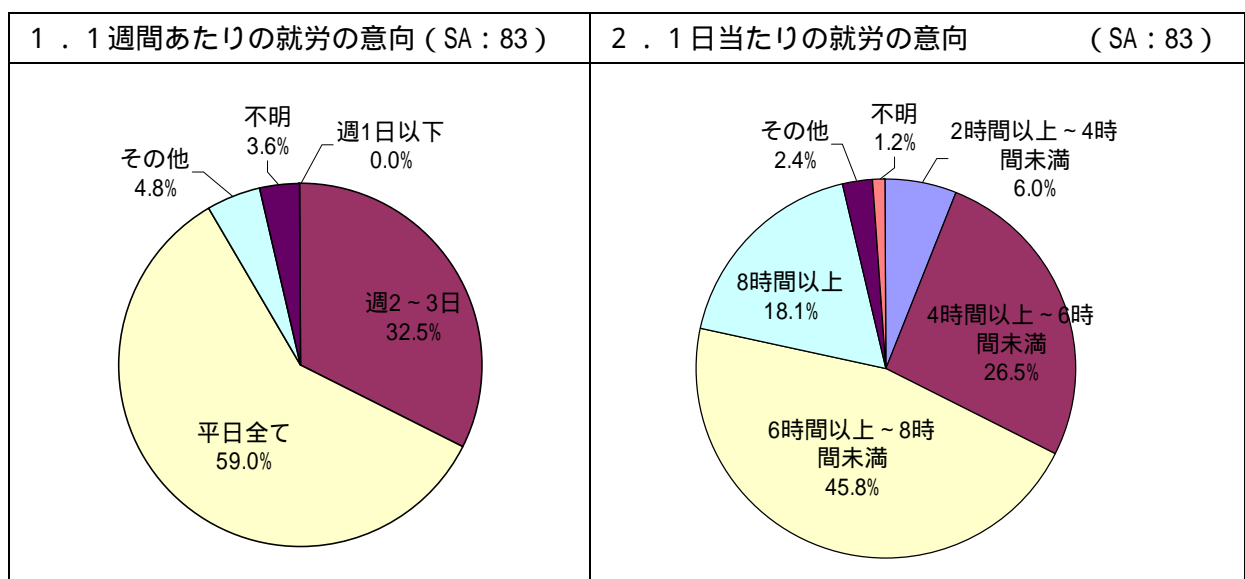
現在、「定年等による退職もしくは自営業等で引退」した方の現在の職業としては、「無職」が半数以上であり、就労している方もパート・アルバイトが最も多く、フルタイムでの就労の方は少ない。

一方、現在、「定年、引退前でフルタイムで就労中」の方のリタイア後の就労意向を見ると、フルタイム、パートタイムでの就労を含め6割以上の方が就労したいと考えていることが分かる。



リタイア後の就労意向について

リタイア後に就労したいとした方に対する「どの程度働きたいか」という設問に対しては、多くの方が「平日全て」、「フルタイム」で働きたいと考えている方が多いことが分かる。



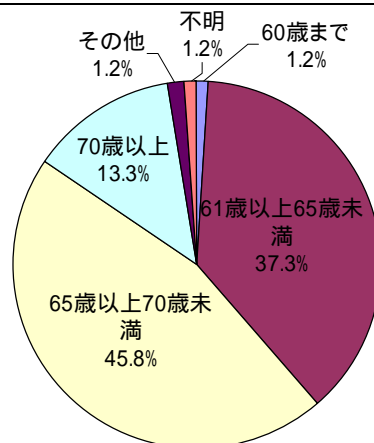
何歳まで働きたいかとの設問に対する回答を見ると、65歳を過ぎても働きたいとする方が半数以上おり、「働ける間はできるだけ働きたい」と考えている方が多いことが分かる。

また、月収についても、30万円以上とする方が最も多い一方で、15万円未満とする方も3割程度おり、必ずしも十分な収入のために働きたいとしている訳では無いことが分かる。

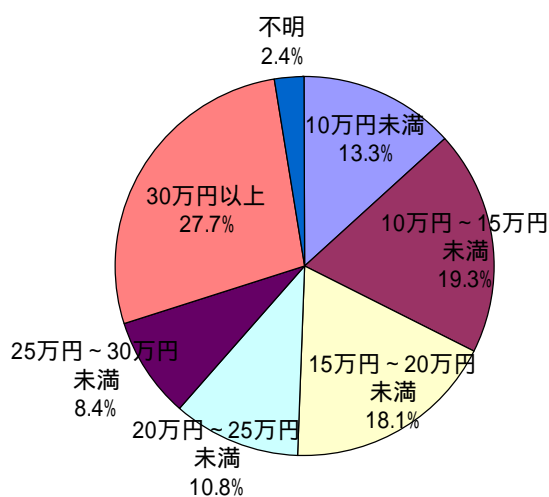
就労場所については、「自宅」「岡崎市内」とする方がほとんどで、リタイア後は、就労しても地域での生活を望んでいることが分かる。

起業の意向については、8割以上の方が「起業は考えていない」としており、働くにしても、リスクを背負ってまで働く意向は無いことが分かる。

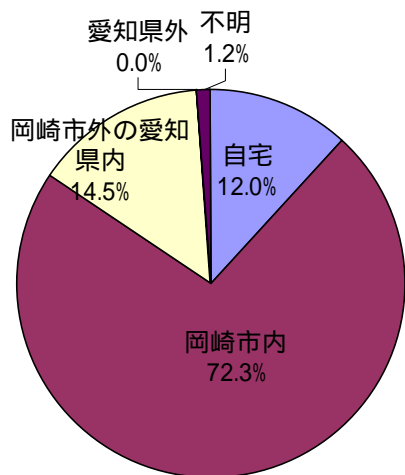
3. 何歳まで働きたいか (SA: 83)



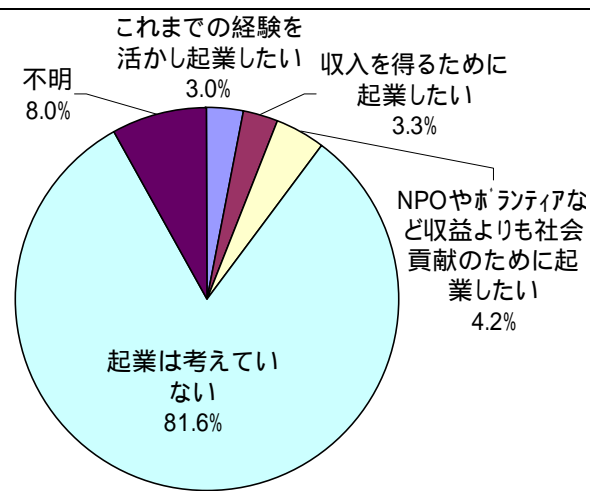
4. どの程度の月収を望むか (SA: 83)



5. 就労場所の意向 (SA: 83)

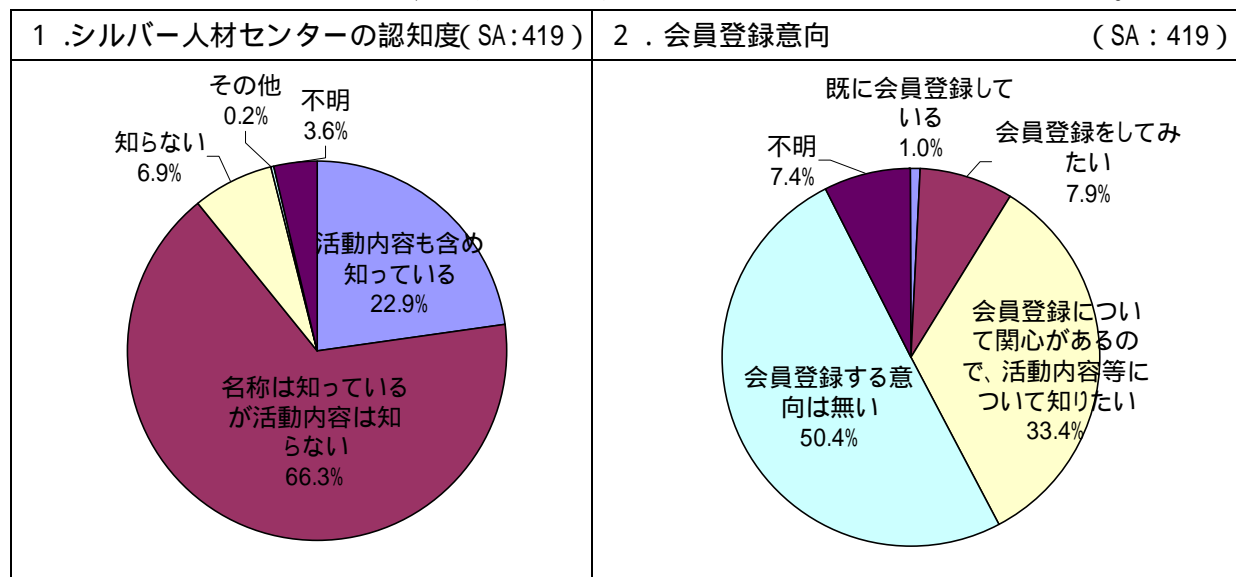


6. 起業の意向 (SA: 337)



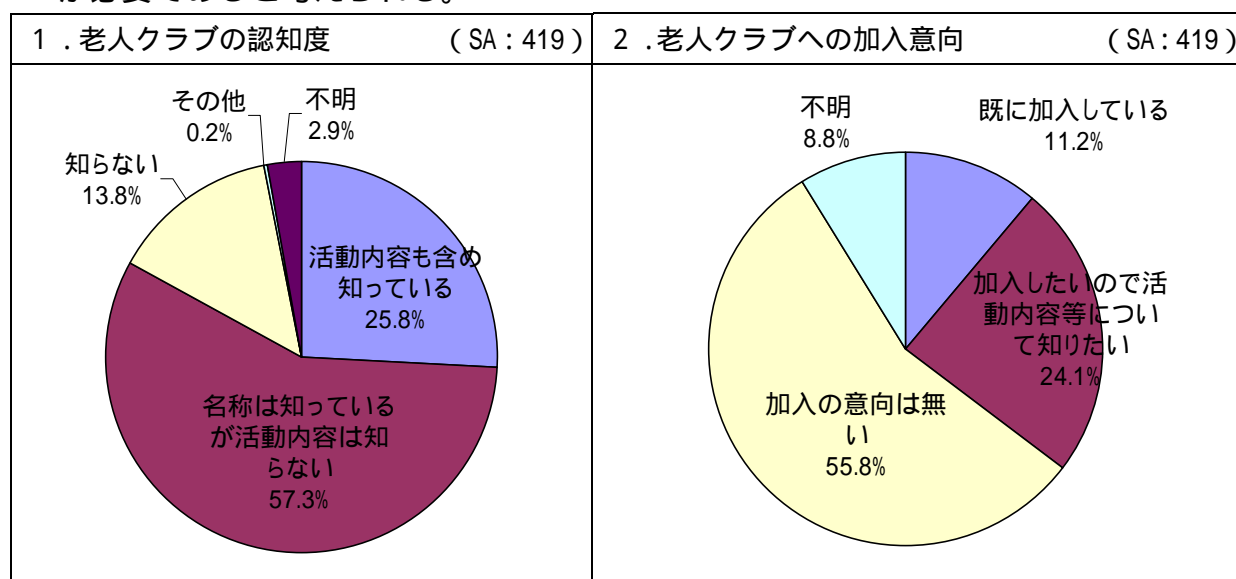
シルバー人材センターについて

シルバー人材センターについて、「名称は知っているが活動内容は知らない」とする方が約 66%と、認知はされているものの何をしているところか分からないという方が多いことが分かる。また、会員としての登録意向としては、約半数の方が「会員登録する意向はない」としている一方で、「会員登録をしてみたい」「会員登録について関心があるので、活動内容を知りたい」とする方も 4 割以上おり、的確な情報発信をすることで、会員数の増加を図る可能性があることが分かる。



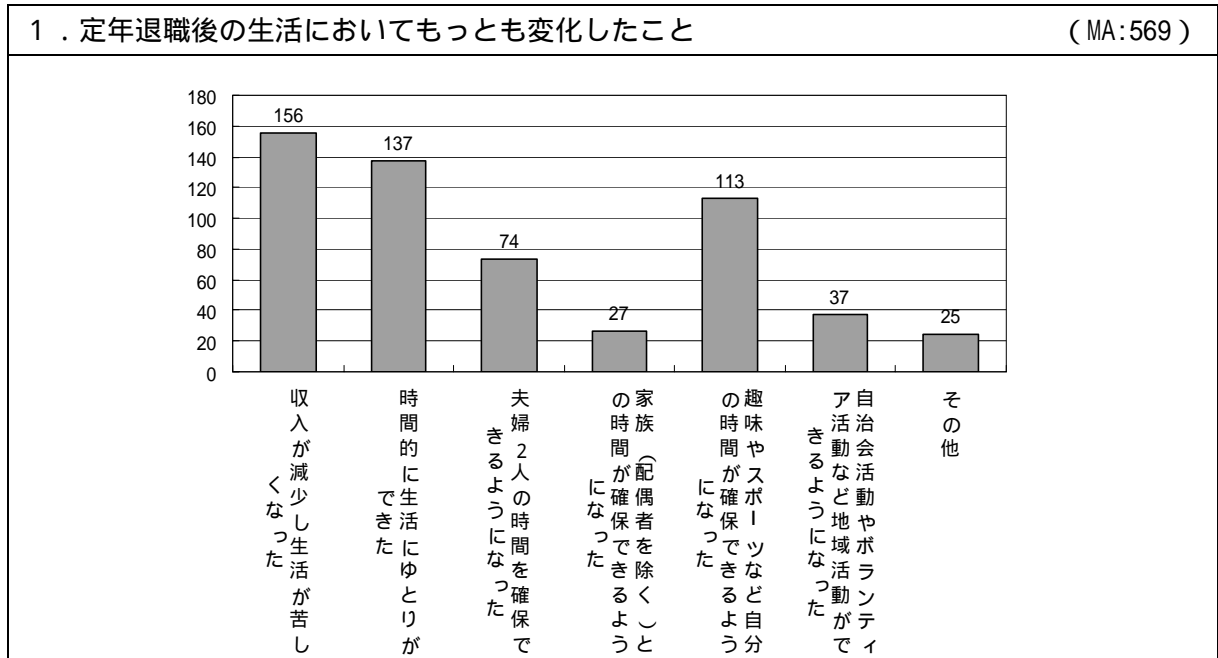
老人クラブについて

老人クラブについて、「名称は知っているが活動内容は知らない」とする方が約 57%と、シルバー人材センターと同様に、認知はされているものの何をしているところか分からないという方が多いことが分かる。また、会員としての登録意向としては、約 56%の方が「会員登録する意向はない」としている。但し、「加入したいので活動内容等について知りたい」とする方も約 24%いることから、的確な情報発信をする中で、老人クラブについて理解してもらい、加入者数を増加させる工夫が必要であると考えられる。



リタイア後の生活の変化について

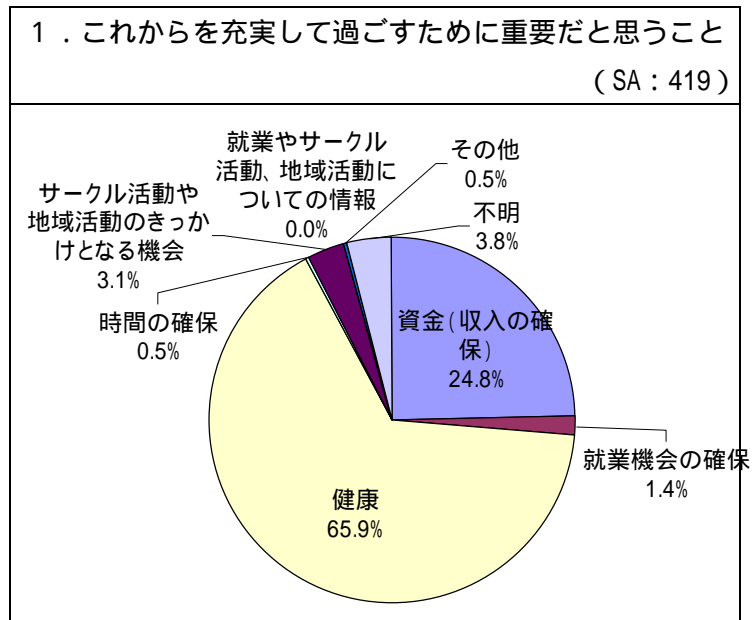
リタイア後の生活の変化について、最も多いのは「収入が減少し生活が苦しくなった」が最も多く、「時間的に生活にゆとりができた」「趣味やスポーツなど自分の時間が確保できるようになった」と続いている。これらの結果から、時間的な余裕はあるものの、金銭的なゆとりは無くなっていることが分かる。



これからを充実して過ごすために重要なこと

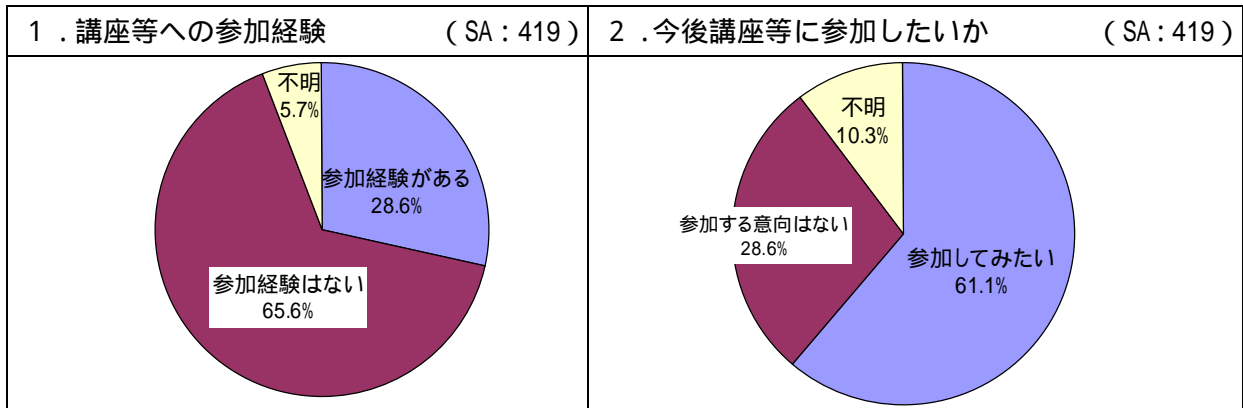
充実して過ごすために重要なことについては、「健康」と回答された方が約66%と最も多く、健康についての関心が高いことが分かる。

また、「資金(収入の確保)」と回答された方が約25%となっており、リタイア後の収入減に対する心配・不安が表れているものと考えられる。



趣味や健康づくり等の教室や講座について

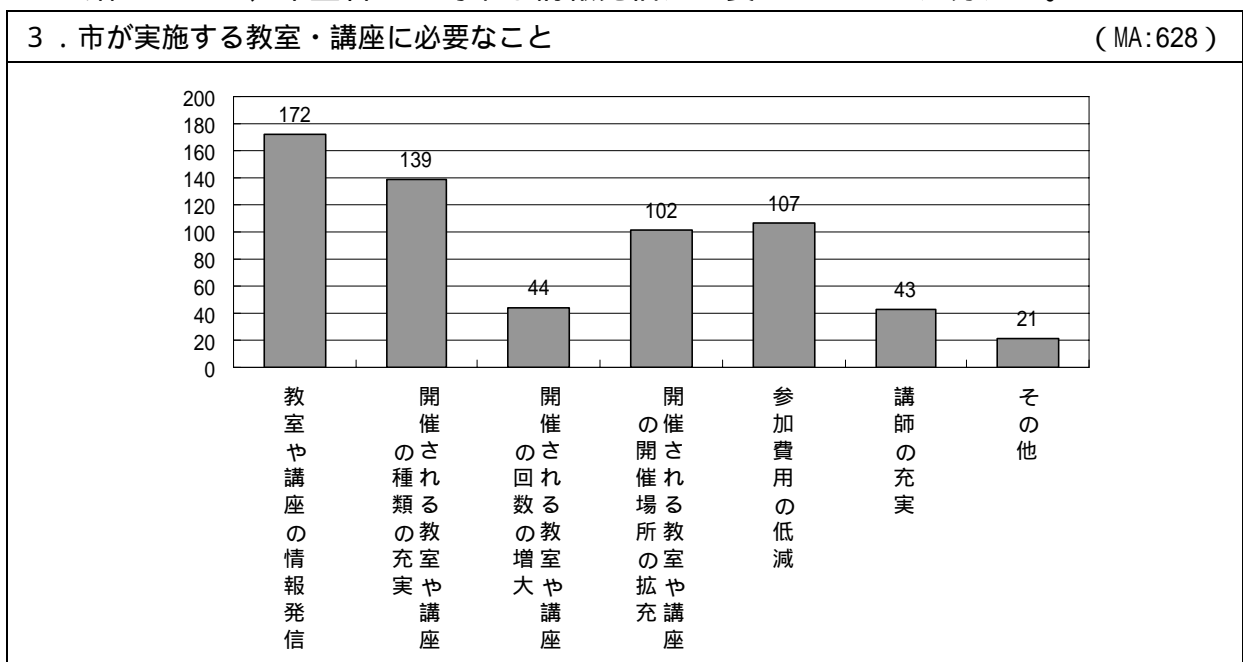
市が実施している各種講座への参加経験としては、約 66%の方が「参加経験はない」としている一方で、今後、「参加してみたい」とする方は、約 61%となっている。講座等への参加経験と今後の参加意向をクロス分析すると、参加経験のある方のうち約 80%の方が今後も参加したいとしており、参加経験の無い方も約 56%の方が今後は参加したいとしていることから、シニア層における各種講座への参加のニーズは高いものと考えられる。



これまでの参加経験とこれからの参加意向

参加経験 \ 参加意向	参加してみたい	参加する意向はない。	不明	総計
参加経験がある	95 (79.2%)	9 (7.5%)	16 (13.3%)	120
参加経験が無い	155 (56.4%)	109 (39.6%)	11 (4.0%)	275
不明	6 (25.0%)	2 (8.3%)	16 (66.7%)	24
総計	256 (61.1%)	120 (28.6%)	43 (10.3%)	419

市が実施する教室や講座に必要なこととしては、「情報発信」を上げている方が最も多く、上記の「参加経験は無いが今後は参加したい」というニーズがあることを踏まえると、希望者への的確な情報発信が重要であることが分かる。



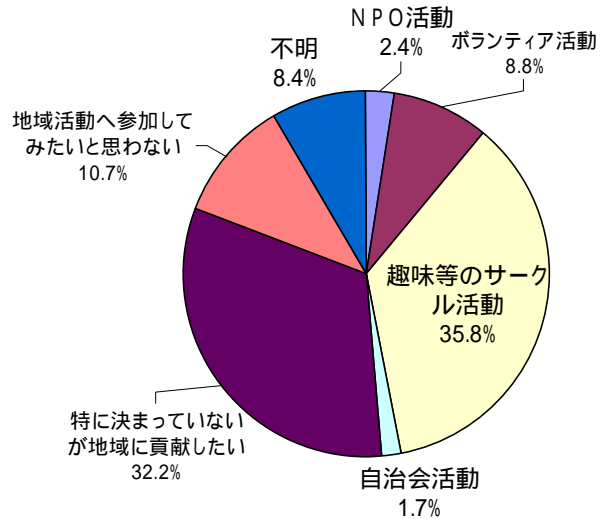
地域活動への参加意向

これからの生活においてどのような地域活動に参加してみたいかという設問に対しては、「地域活動へ参加してみたいと思わない」とする方は約 11%と少なく、何かしら地域での活動を望んでいることが分かる。

また、「特に決まっていないが地域に貢献したい」とする方が約 32%おり、地域に貢献する使命感を持った活動がしたいと考えている方が多いものと考えられる。

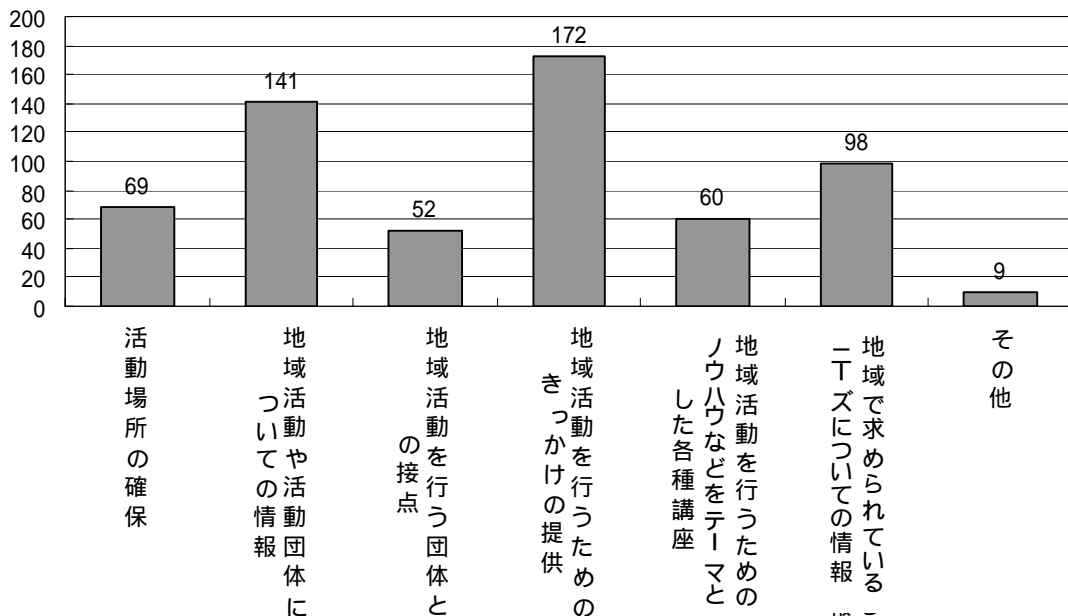
地域活動に参加するに当たって必要なこととしては、「地域活動へのきっかけの提供」が最も多く、次いで「地域活動や活動団体についての情報」となっており、地域活動はしたいが、そのためのきっかけや情報が不足していることが分かる。

1. どのような地域活動に参加したいか (SA:419)



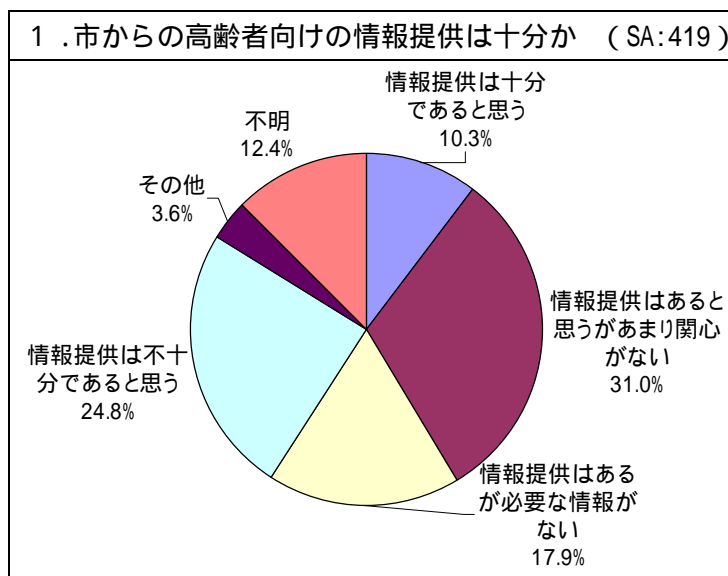
2. 地域活動に参加するに当たって必要なこと

(MA:601)



市からの高齢者向けの情報提供について

市からの情報提供に対して、「情報提供はあるが必要な情報がない」、「情報提供は不十分であると思う」と回答した方を合わせると約43%になり、市からの情報提供に不足を感じ、シニア層の市民が望む情報が届いていない状況であることが分かる。



(3) アンケート調査の結果総括

就労について

現在、既にリタイアされている方は、無職の方が多く、リタイア前の方は、定年・引退後もリタイア前と同様に働きたいとの意向を持っている。

また、リタイア前の方の半数以上が65歳を過ぎても働きたいとしている一方で、希望する月収が15万未満とする方が3割程度おり、必ずしも生活のためだけに働きたいのではなく、生きがいづくりの手段としての就労を考えている方が多いことが分かる。

シルバー人材センターについて

名称としての認知度は高いものの、活動内容については認知度が低い。また、会員登録を望まない方が約半数いる一方で、会員登録に関心のある方が4割以上いる。そのため、的確な情報発信ができれば会員数の増加を図れる可能性がある。

また、今後、会員になる可能性のあるリタイア前の方の就労意向が高いことから、シルバー人材センターについての十分な理解を得る取り組みを進めることで、シニア層に対するシルバー人材センターの役割の重要性も高まるものと考えられる。

老人クラブについて

老人クラブについても、シルバー人材センターと同様に、名称としての認知度は高いものの、活動内容については認知度が低い。また、加入の意向は無いとする方が約56%おり、加入者増加にあたっては大きな課題である。ただし、加入意向のある方も約24%いる。これからの生活において、地域への貢献も含め地域活動への参加を求めている方が多いことを踏まえると、老人クラブで行っている地域への奉仕活動や旅行、スポーツ活動など具体的な活動内容をPRするなどの工夫によって、加入者数を増加できる可能性はあると考えられる。

これからの生活について

これからの生活については、健康に対する関心度が高く、収入減による生活への不安が表れている結果となっている。また、時間的な余裕があるため各種教室・講座への参加意向や地域活動への参加意向が高い結果となっており、健康を維持しながら趣味やスポーツ活動への参加、地域に貢献できる活動への参加を望んでいることが分かる。

教室や講座への必要なこととしては、「情報発信」を上げる方が多く、地域活動については、「きっかけの提供」を上げる方が多い。趣味やスポーツ活動への参加や地域活動への参加の意向は高いものの、それを実践するための情報や参加の方法・きっかけが不足しており、シニア層に必要な情報が行き届いていない状況にあると考えられる。

情報提供について

市からの情報提供については、「必要な情報がない」、「情報提供は不十分」と考える方が多い結果となっている。

現在でも市政だよりやホームページを通して、市からの情報発信は行われているが、必要な情報が届いていない状況であることが分かる。

シニア層の方は、自ら必要な情報にアクセスすることが若年者に比べて苦手とする面もあるため、今後は、シニア層の特性に合わせた情報提供が必要と考えられる。

2. 関係団体等のヒアリング

2-1. 調査概要

関係団体へのヒアリング調査の概要は以下のとおりである。

ヒアリング団体	実施日時	ヒアリング内容
岡崎げんき館 (保健所総務課)	平成 20 年 8 月 27 日 13:00 ~ 14:30	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり関連教室へのシニア層の参加状況、利用意向の高いプログラム。 拡大が必要と思われる講座。 高齢者の登録状況、利用実態。 情報提供の充実の必要性。 本施設整備の施策がより有効なものとなるように参画できること。
岡崎パブリックサービス (中央総合公園)	平成 20 年 8 月 27 日 14:50 ~ 15:50	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり関連教室へのシニア層の参加状況。 拡大が必要と思われる講座。 他施設でのシニア層向け事業展開の可能性。 情報提供の充実の必要性。 本施設整備の施策がより有効なものとなるように参画できること。
岡崎商工会議所	平成 20 年 8 月 27 日 10:30 ~ 11:40	<ul style="list-style-type: none"> シニア層を対象とする就労支援として実施していること。 創業相談のうち、高齢者の相談状況。 地域活動等への参加支援として実施していること。 「21 世紀を作る会・みかわ」「まちづくり委員会」の活動状況、シニア層の参加状況。 各種講座の参加状況、シニア層を対象とした講座の開催予定。 情報提供の充実の必要性。 本施設整備の施策がより有効なものとなるように参画できること。
岡崎市社会福祉協議会	平成 20 年 8 月 22 日 10:00 ~ 11:20	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアルームの活動内容。 ボランティア活動へのシニア層の参加状況。 シニア層に期待すること。 シニア層のボランティア活動への参加促進として実施していること。 情報提供の充実の必要性。 本施設整備の施策がより有効なものとなるように参画できること。

ヒアリング団体	実施日時	ヒアリング内容
老人クラブ連合会	平成 20 年 8 月 28 日 10:30 ~ 11:30	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の老人クラブへの加入者数。 ・よく行っている活動。 ・活動の幅を広げる必要性。 ・高齢者の生きがい提供の視点からできること。 ・市に事務局があることのメリット・デメリット。 ・情報提供の充実の必要性。 ・本施設整備の施策がより有効なものとなるように参画できること。
岡崎市シルバー人材センター	平成 20 年 8 月 28 日 11:30 ~ 12:40	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事として多いこと。 ・団塊世代の登録状況。 ・登録会員からの要望。 ・シニア層の生きがいづくりについて就労支援以外のできること。 ・現状施設の状況について。 ・就労支援以外の講座開催、相談業務、起業支援の可能性について。 ・情報提供の充実の必要性。 ・本施設整備の施策がより有効なものとなるように参画できること。
岡崎公共職業安定所 (ハローワーク岡崎)	平成 20 年 8 月 28 日 13:30 ~ 14:30	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア層の求人状況。 ・シニア層を対象とした就労支援策として実施していること。 ・「高齢者職業相談室」の岡崎への設置可能性。 ・シルバー人材センターとの連携可能性。 ・情報提供の充実の必要性。 ・本施設整備の施策がより有効なものとなるように参画できること。
岡崎地域職業訓練センター	平成 20 年 8 月 28 日 15:00 ~ 16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容について。 ・各種講座へのシニア層の参加状況、ニーズの高い講座。 ・シルバー人材センターとの連携可能性。 ・情報提供の充実の必要性。 ・本施設整備の施策がより有効なものとなるように参画できること。

2-2.調査結果

(1) ヒアリング結果

	「就労」 (就労支援やシニア層の 就労状況等)	「社会参加」 (地域活動やボランティア 活動等)	「生きがい」 (各種講座の開催状況や参 加状況等)	「健康づくり」 (運動機会の提供や参加状 況等)	情報提供の充実について (現在の情報発信の状況、今 後の必要性等)	施策がより有効となるよう に参画できること (高齢者生きがい施設で協 力できることなど)	その他
岡崎げんき館				<ul style="list-style-type: none"> ・リタイア後かは不明であるが、健康に対する関心は高い。 ・健康づくりに向けた有効なプログラムは、世代を問わず必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に限らないが情報提供を充実させたい。 ・各課で行っている事業の情報を整理、一元化して、分かりやすく提供する必要がある。 ・高齢者生きがい施設で、げんき館のプログラム紹介は可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各課で健康・生きがいづくりの施策は進めているが、それぞればらばらで関連性がない。 	
岡崎パブリックサービス				<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングは高齢者の参加が多い。 ・ここ数年、講座数は増加している。 ・いきいき健康運動教室は、好評であり、仲間づくりの場としても効果がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPと市政だよりの他に、支所など市の施設にチラシ配布を行っている。 ・高齢者生きがい施設を情報提供の場として活用することは歓迎する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向け講座の紹介をしてもらう場として期待したい。 	
岡崎商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・63歳までの継続雇用が求められており、採用する企業は多い。 ・現在、愛知県中小企業団体中央会が「OB人材登録」を行っている。 ・愛知県雇用開発協会が実施する「定年準備セミナー」に協力。 ・高齢者からの創業相談はほとんど無い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に地域活動の担い手となってもらうことは、まちづくりの観点からも重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいち高齢期雇用就業支援センターが、シニア向け講座を展開している。 ・コミュニティーサテライトオフィスの講座には、高齢者が多く参加している。特に、岡崎学、地域の歴史などの講座の人气が高い。 		<ul style="list-style-type: none"> ・HPと市政だよりで情報提供をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、中途・新卒採用を重視しているが、65歳定年が定着すれば、高齢者向け就労支援事業の重要性は増すと考えている。 	
岡崎市 社会福祉協議会		<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に参加する高齢者の割合は比較的高いと思われるが、就労中かは不明。 ・高齢者のボランティアへの参加は知人の紹介が多い。 ・高齢者に、ボランティアの担い手としてのマンパワーに期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向けに手話、点字などの講座を開催しており、ほぼ定員一杯の参加者がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・機関誌 neco (ボランティア依頼情報) ふれあいのまち岡崎(ボランティア団体の紹介) 市政だよりで講座開催案内をしているが不十分。 ・市民協働推進課や市民活動総合支援センターとの協力体制が無く、独立した活動となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対象を絞ることはできないが、情報提供の場は必要であり、協力できる。 	
老人クラブ 連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳くらいでは、まだ住宅ローンを抱えており、働く必要がある方もいるため、60歳代の加入は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動などを地域の小学生と一緒にやっている。 ・地域への奉仕活動は、参加者が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブでの活動が生きがいづくりの提供になると思う。 ・地域に貢献する活動は、使命感を持って参加できるので生きがいにつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブの活動で多いのは、スポーツである。 		<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ連合会として、各老人クラブの相談対応や高齢者の困りごとに対するアドバイスを与えるようなことに参加できると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友人がいることで加入する人は多い。(友人がいないと加入しづらい) ・定常的に活動できる活動拠点があると良い。 ・書類づくりなど、事務局を市がサポートしてくれないと活動が難しい。

	「就労」 (就労支援やシニア層の 就労状況等)	「社会参加」 (地域活動やボランティア 活動等)	「生きがい」 (各種講座の開催状況や参 加状況等)	「健康づくり」 (運動機会の提供や参加状 況等)	情報提供の充実について (現在の情報発信の状況、今 後の必要性等)	施策がより有効となるよう に参加できること (高齢者生きがい施設で協 力できることなど)	その他
岡崎市シルバー 人材センター	<ul style="list-style-type: none"> 雇用延長や普通に就労したい人が増え、団塊世代の登録は増えていない。平均年齢は 70～74 歳。 		<ul style="list-style-type: none"> 就労・仕事につながる講習・研修が主になるが、開催場所の確保が難しく、県のシルバー人材連合会が岡崎を会場として実施するときの支援にとどまっている。 会場確保ができれば、資格のある会員が講師となって講座を開催することは可能。 		<ul style="list-style-type: none"> 水道の検針票の裏に広告を入れたりしているが、広告にはお金がかかる。 市政だよりへの折り込みは効果的である。 登録者募集の情報発信の必要性は高いが、現状は登録数に対して仕事があふれており、仕事の募集はしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 会員へのサービスを主として、年金についてのアドバイスなどセカンドライフのマネープランの相談に乗ることはできる。 シルバー人材センターは、臨時・短期の人材紹介しかできないが、企業や登録希望者には長期雇用のニーズがあり、シルバー人材センターのネットワークを使って、きめ細かい人材紹介サービスの実施は可能。 高齢者の就労意向に合わせて、求職者と求人者のマッチングが可能であり、ボランティアセンターと調整しながらボランティア業務を紹介することも可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 会員からは仕事の種類を広げて欲しいという要望がある。 現状の事務所では狭く、独自の打合せや講座の開催が難しい。
岡崎公共職業 安定所	<ul style="list-style-type: none"> 年齢を限定した求人はできないので、高齢者を雇用したいという企業の状況はよく分からない。 継続雇用制度で 65 歳までの雇用を目指して企業への周知を図っている。 商工会議所と共催している就職面接会では、中高年の参加が多かった。 継続雇用制度の実施もあり、団塊世代の定年が始まってから、高齢者の就職相談が増えたと言うことはない。 				<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のみを対象とした雇用に関する情報提供を充実することはない。 	<ul style="list-style-type: none"> ハローワークの求人端末を高齢者生きがい施設に置くことは費用の問題もあり考えられない。 シルバー人材センターとの連携については、「連絡調整」のレベルであれば可能性はあると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 安城市などでは、地域就職相談室を実施しているが、岡崎ではハローワークがあるので、岡崎市で地域就職相談室を実施する予定はない。
岡崎地域職業訓 練センター	<ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センターがこの施設を活用して就労訓練などをしてくれると良い(センターとしては貸館業務が主のため)。 		<ul style="list-style-type: none"> 貸館の稼働率を上げるために、独自にカルチャー教室の様な講座を企画運営している。 講座は、全て利用者負担の講座である。 平日昼間の講座なので、特に高齢者層の利用が多い。 		<ul style="list-style-type: none"> 現在は、市政だよりでの年 1 回の募集のみとなっており、追加募集などもできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者生きがい施設で、職業訓練センターで行っている講座の情報を発信してもらえると助かる。 高齢者生きがい施設で、高齢者向けの講座について情報発信する有用性はあると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 職業訓練センターには加工機器などの設備が整っているため、それらの施設を利用して資格取得訓練などを実施してもらえるとよい。

(2) ヒアリング結果のまとめ

	ヒアリングのまとめ
就労支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続雇用制度の実施により、現時点では 63 歳までの雇用は充実しつつある。そのため、シルバー人材センターでも団塊世代の登録は少なく 70 歳以降の人が多い。 ・ ハローワークにおいては、年齢を限定した支援はできないため、高齢者を対象とした支援はしにくい。 ・ 高齢者の創業支援のニーズは少ない。
社会参加について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者に地域活動の担い手となってもらうことはまちづくりの観点からも重要。 ・ ボランティア活動における高齢者の割合は比較的高い。 ・ 老人クラブにおいて奉仕活動への参加は多く、使命感を持ってできる地域活動は生きがいづくりにつながる。 ・ ボランティアのマンパワーとして高齢者は期待されている。 ・ 社会福祉協議会、市民協働推進課や市民活動総合支援センターとの協力体制が無く、独立した活動となっている。
生きがいづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の組織・団体が、高齢者も含めた各種講座を開催している。 ・ テーマによっては高齢者の参加率は高いと考えられる。
健康づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康に対する関心は高く、高齢者の参加も多くなってきている。 ・ 各課で健康・生きがいづくりの施策は進めているが、それぞればらばらで関連性がない。
情報発信について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政だよりによる情報発信に頼っている団体が多く、情報発信の充実を望む団体が多い。 ・ 各課で行っている事業の情報を整理、一元化し、分かりやすく提供する必要がある。
施策の有効的な展開に向けて協力できること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者生きがい施設での情報発信の充実を望む団体が多く、そのための協力は可能とする団体が多い。 ・ シルバー人材センターでは、年金等の高齢者のマネープランへの相談対応、長期雇用の希望者への就労支援として、企業とのネットワークを活用したきめ細かい就労支援が可能としている（現状の制度下では、長期雇用の紹介業務はできない）。 ・ 老人クラブ連合会では、クラブ運営や悩み事等の相談への対応などで協力可能としている。

3 . シニア層の生きがいづくりに関わる施策・事業の状況

市の関係各課に対して、シニア層の生きがいづくりに関わる施策や事業の展開状況について調査票を配布し、把握を行った。

3-1.調査概要

関係各課へのヒアリング調査の概要は以下のとおりである。

関係各課	調査内容
シビックセンター	生涯学習に関わるシニア層の参加状況。 シニア層を対象として拡大が必要と思われる講座について。
市民活動総合支援センター	シニア層を対象とした NPO 活動や地域活動などの参加支援に関わる施策の実施状況。 シニア層の生涯学習に関わる施策の実施状況。 シニア層を対象とした起業支援に関わる施策の実施状況。 上記以外のシニア層を対象とした施策の実施状況。
市民協働推進課	生涯学習に関わるシニア層の参加状況。 シニア層を対象として拡大が必要と思われる講座について。 地域活動に対するシニア層の参加状況。 シニア層の地域回帰支援に必要な施策。 シルバーカレッジの導入について。
社会教育課	シニア層を対象とした NPO 活動や地域活動などの参加支援に関わる施策の実施状況。 シニア層の生涯学習に関わる施策の実施状況。 シニア層を対象とした起業支援に関わる施策の実施状況。 上記以外のシニア層を対象とした施策の実施状況。 生涯学習に関わるシニア層の参加状況。 シニア層を対象として拡大が必要と思われる講座について。 シニア層の地域回帰支援に必要な施策。 シルバーカレッジの導入について。
長寿課	シニア層の就労支援対策施策について。 シニア層の生涯学習に関わる施策の実施状況。 上記以外のシニア層を対象とした施策の実施状況。 生涯学習に関わるシニア層の参加状況。 シニア層を対象として拡大が必要と思われる講座について。 シルバーカレッジの導入について。
文化国際課	生涯学習に関わるシニア層の参加状況。 シニア層を対象として拡大が必要と思われる講座について。 シルバーカレッジの導入について。

関係各課	調査内容
保健所総務課	シニア層の生涯学習に関わる施策の実施状況。 上記以外のシニア層を対象とした施策の実施状況。
健康増進課	生涯学習に関わるシニア層の参加状況。 シニア層を対象として拡大が必要と思われる講座について。 シルバーカレッジの導入について。
こども課	生涯学習に関わるシニア層の参加状況。 シニア層を対象として拡大が必要と思われる講座について。
スポーツ振興課	
視聴覚ライブライ-	
自然共生課	生涯学習に関わるシニア層の参加状況。 シニア層を対象として拡大が必要と思われる講座について。 シルバーカレッジの導入について。
商工労政課	シニア層の生涯学習に関わる施策の実施状況。 シニア層を対象とした起業支援に関わる施策の実施状況。 上記以外のシニア層を対象とした施策の実施状況。 地域活動に対するシニア層の参加状況。
農務課 林務対策室	シニア層の生涯学習に関わる施策の実施状況。 シニア層を対象として拡大が必要と思われる講座について。 地域活動に対するシニア層の参加状況。 シルバーカレッジの導入について。

3-2.調査結果

(1) 調査結果

	NPO 活動や地域活動などの参加支援に関わる施策の実施状況	生涯学習に関わる施策の実施状況	就労支援・起業支援に関わる施策の実施状況	その他のシニア層を対象とした施策の実施状況	生涯学習に関わる講座の開催、シニア層の参加状況
シビックセンター					
市民活動総合支援センター		・老人クラブと協力しながら、高齢者を対象とした講演会（高齢者教室）を各市民センターで実施。			・趣味、教養など多数の定期講座を各市民センターで開催している。 ・人気のある講座は、男の料理教室、古典、文学、俳句、健康体操、童謡、絵手紙、折り紙等。 ・平日開催のため、高齢者の参加が多い。
市民協働推進課					
社会教育課				・放課後子供教室を開催。H20 年度より、細川小学校と城南小学校でモデル的に実施。ボランティアとして高齢者もあり、折紙、将棋、読み聞かせなど子供との交流がある。	・「地域生涯学習講座」を開催しており7割が高齢者。健康、福祉、保健、地域づくり、地元の歴史、自然体験などの講座が人気。 ・学区の社会教育委員会が講座を運営、講師料は社会教育課で負担。
長寿課		・介護予防に関する各種講座・講演を実施（体シャキッと教室、明るい食生活教室、お口すっきり教室、介護予防教室、脳きり塾等）	・岡崎市シルバー人材センターに対して、「高齢者能力活用推進事業費補助金」として事業費を補助している。		・各種講座が高齢者の対象講座となっている。団塊世代に、ボランティア養成講座の人気があるが、受講後に立ち上げた団体の活動機会の提供まで行政で行う状況になっている。
文化国際課					・語学講座（岡崎市国際交流協会主催事業）へのシニア層の参加は、平均で25%程度。
保健所総務課				・岡崎げんき館市民会議事業（市民会議が実施する健康づくりに関わる講座）は、高齢者のみを対象とした講座ではないが、健康が気になる高齢者の参加が多い。	・実際に体を動かす分野では、65歳以上の参加率が高い。
健康増進課		・出前講座（健康に関する保健師・栄養士による講話） ・健康教室（健康に関する講演会） ・健康教室（生活習慣病予防教室） ・ガン検診（胃・肺・大腸・乳・子宮ガン検診）			・講座により参加状況は異なるが、65歳以上の参加が半数以上の講座が多い。 ・人気の講座は、生活習慣病予防、こころ、栄養に関する講座。
こども課		・H20より「子育て支援者養成講座」を実施（岡崎子育てネットワークの会が委託で実施）している。			・子育て支援者養成講座は、高齢者に限った講座ではないが、50歳以上の参加が約23%となっている。子育てが終了した方、孫ができた方が多い。
スポーツ振興課		・年間計画の事業としては実施していないが、出前講座の依頼を受け、講師を務めることはある。			・講座ではないが、スポーツ・レクリエーション祭は、高齢者の参加がほとんど。
視聴覚ライブラリー					・ビデオ講習会（ビデオ撮影の基本やビデオ編集）へのシニア層の参加は34名中2名。
自然共生課					・自然保護活動者養成講座へのシニア層の参加割合は70%。 ・森の駅きり塾へのシニア層の参加割合は90%。
商工労政課			・中高年齢者就労支援として、岡崎公共職業安定所・岡崎商工会議所との共催で、企業との就職面接会を実施。		
農務課					・農業体験的なイベントを各種実施しているが、子供を対象としたものが多く、高齢者の参加は少ない。
林務対策室					・チェーンソーを使用した間伐の講習として「間伐講習会（中級編）」を実施しているが、全てが50歳以上の参加者である。

	拡大が必要と思われる講座について	地域活動に対するシニア層の参加状況	地域回帰支援に必要な施策	シルバーカレッジの導入について
シビックセンター				
市民活動総合支援センター			・講座の開催。	・市民センター、高年者センター等で行われている定期講座を統一し、企画運営できるような事務局を作るのであれば効果的。 ・別途、シルバーカレッジを立ち上げることは、参加者の奪い合いになる。 ・高齢者を中心に全ての年齢を対象とした生涯学習講座の開設が必要。
市民協働推進課		・地域に密着した活動については、高齢者の参加が多いと思われる。 ・シニア層が参加しやすい状況にあるかは不明。	・数年前に団塊世代を含めた市民活動についての講座（シニアのための市民活動起業講座）を開催したが、参加は少なかった。ニーズが少ないか、別の方法で活動済と思われる。	・スキルアップの目的、受講後の活用方法を明確にすることが必要。 ・しっかりとニーズ把握を行った上で実施することが必要。
社会教育課	・地域との交流や若い世代との交流がある講座。 ・生きがいにつながるような講座。			
長寿課	・家庭介護講座、介護者サポート教室など介護を行う家族を支援する講座は、参加者の多寡にかかわらず続ける必要がある。			・学校、クラスといった枠組みを強調することで、学習だけでなく、参加者に付加的な意欲を生むこともできる施策と考える。 ・県が実施するシルバーカレッジの岡崎校は人気があり、需要は大きいと考える。 ・他に実施している各種講座との差別化が必要。
文化国際課	・既存の語学講座の充実や各国をテーマとした文化セミナー、国際関係ボランティアの養成講座が考えられる。			・需要があれば導入する意義はあると考える。試験的に導入し、アンケート等で需要が確認できれば導入しても良いと考える。
保健所総務課	・人の手を借りずに生活ができることを目指し、家庭でできる簡単トレーニングを教えたり、実践する講座（介護予防的な講座）。			・何を目的として受講するのか目的をはっきりさせることが必要。前向きな人生を送ったり、地域貢献を目的として、老いを楽しめる講座が良い。
健康増進課	・結核の知識と予防についての講座、ガン予防と早期発見についての普及啓発の充実。			・定期的な講座により、多種多様な内容の受講ができて、仲間づくりもできるので良いと思う。
こども課	・高齢者に限らないが、地域の子育て力を養うための講座として「子育て支援者養成講座」への参加を期待したい。			
スポーツ振興課	・グラウンド・ゴルフほか生涯スポーツ講座。			
視聴覚ライブラリー				
自然共生課				・現在は考えていない
商工労政課				
農務課	・農業を支える次世代育成については課題として捉えているが、その中に高齢者を対象とする考え方は無い。			
林務対策室	・林業関係の講座。但し、のこぎりを使った子供・家族向けの当日限りのイベント的なものではなく、チェーンソーなどの機械をつかった、継続作業に結びつくもの。			

(2) 調査結果のまとめ

関係課による主な講座等の開催状況

市民に対する生涯学習に関わる講座は、各種開催されている。関係各課へのヒアリングに基づいた生涯学習に関わる事業等は以下のとおりである。

ジャンル	事業・講座名
趣味	学区社教「地域生涯学習講座」(社会教育課) ビデオ講習会(視聴覚ライブラリー) 高齢者教室(市民活動総合支援センター) 定期講座(市民活動総合支援センター) ・カラオケ教室、フラワーアレンジメント、茶道 ほか
教養・生活	各種語学講座(文化国際課) ・英会話初級講座、中国語入門講座、ポルトガル語入門講座 ほか 学区社教「地域生涯学習講座」(社会教育課) 高齢者教室(市民活動総合支援センター) 定期講座(市民活動総合支援センター) ・俳句入門、男の料理、トラベル英会話 ほか
スポーツ	スポーツ・レクリエーション祭(スポーツ振興課) 定期講座(市民活動総合支援センター) ・卓球 岡崎市体育協会各種スポーツ教室 ・なぎなた教室、シニアソフトテニス教室 ほか
健康づくり	介護予防に関する各種講座(長寿課) ・からだシャキッと教室、明るい食生活教室、お口すっきり教室、介護予防教室、脳きり塾 ほか 岡崎げんき館市民会議事業(保健所 総務課) ・健康づくり講座、地域ふれあい健康教室、ウォーキング教室 ほか 健康教室(保健所 健康増進課) 学区社教「地域生涯学習講座」(社会教育課) 高齢者教室(市民活動総合支援センター) 定期講座(市民活動総合支援センター) ・ヨガ健康法、3B健康体操、ソフトエアロビクス ほか
就労	シルバー人材センターへの事業費補助(長寿課) (中高年齢者)就職面接会(商工労政課)
社会参加	シニアのための市民活動起業講座(市民協働推進課) 介護予防に関する各種講座(長寿課) ・介護予防支援研修会(ボランティア活動講座)、介護予防サポーター研修他 放課後子ども教室(社会教育課) 学区社教「地域生涯学習講座」(社会教育課) 高齢者教室(市民活動総合支援センター)
自然・環境	自然保護活動者養成講座(自然共生課) 森の駅きこり塾(自然共生課) 高齢者教室(市民活動総合支援センター)
農林業	間伐講習会(林務対策室) 産地めぐり 農場見学・ぶどう狩り(農務課)
子育て	まちの子育て支援者養成講座「ぼんぼん」(こども課)
その他	出前講座(市職員による) ・健康、市民生活、環境など計134タイトル 市内大学のオープンカレッジ ・簿記3級スタート講座、コーラスを楽しむ、経営哲学特講 ほか

上記記載の講座以外にも多数の講座が開催されている。

関係課へのヒアリングのまとめ

	まとめ
シニア層を対象とした施策の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ シニア層のNPO活動や地域活動への参加支援のための積極的な事業はあまり展開されていない。 ・ シニア層が参加できる生涯学習（文化、教養、スポーツ）は数多く実施されている。
生涯学習に関わる講座へのシニア層への参加状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康に関わる講座には、シニア層の参加率が高い。また、平日に開催される講座には、シニア層の参加率が高い。 ・ ボランティア養成講座、子育て支援者養成講座など、講座受講後の地域への貢献活動につながる講座への参加が多い。
今後拡大が必要と思われる講座について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域や世代を超えた交流につながるような講座や介護予防的な講座の必要性がある。
就労支援・起業支援に関わる施策の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ シルバー人材センターへの事業費の補助、ハローワーク、商工会議所と共催して行う就職面接会以外の施策・事業はない。
シルバーカレッジについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状でもシニア層が参加できる各種講座が様々な課で多数実施されているため、シルバーカレッジを開催するにあたっては、目的や必要性を十分に見極める必要がある。 ・ シルバーカレッジを立ち上げるのであれば、開催されている定期講座を統一して企画運営したり、講座内容の差別化が必要になる。 ・ 県が実施するシルバーカレッジの岡崎校は人気があり、需要は大きいと考える。

4. 本施設整備に向けた課題等の整理

アンケート調査結果、関係団体等のヒアリング、シニア層の生きがいづくりに関する施策・事業の状況から、本施設整備に向けた課題を抽出・整理する。

(1) 就労支援について

課 題	長期雇用の就労支援も含め、シニア層の方が持つ能力・経験を活かせる就労機会提供のための支援策が必要。
-----	---

シルバー人材センターは、短期、臨時的な就労の提供・紹介であり、ハローワークは、年齢を限定した就労支援はできないなどシニア層の就労支援としては限定的なものとなっている。

一方で、シニア層のニーズとしては、リタイア後の就労ニーズは高く、シニア層の能力・経験を活かした就労機会の提供、長期雇用につながる就労機会の提供、市内での就労などシニア層の就労ニーズと企業の求人ニーズのマッチングなど、積極的なシニア層への就労機会提供のための支援策が必要である。

(2) 社会参加について

課 題	シニア層が地域活動へ参加するためのきっかけづくりや情報提供など、各主体が連携した総合的な支援策が必要。
-----	---

ボランティア活動などにおける高齢者の割合は比較的高く、市としては、高齢者に地域活動の担い手になってもらうことは重要としながらも、シニア層の地域活動への参加促進のための積極的な施策が無く、各主体間の協力体制も不十分な状況にある。

一方で、シニア層の地域活動への参加意向は高く、地域活動の担い手として十分に期待できる状況にあるが、地域活動へ参加するきっかけづくりや情報提供が不足している。

そのため、各主体間の横の連携を図りながら、シニア層へ地域活動への参加のきっかけとして地域回帰のための定期講座等のプログラム、イベントの開催や十分な情報提供を行うなど総合的なコーディネートを行い、シニア層の地域に貢献したいという思いを実現するための取り組みが必要である。

(3) 生きがいづくりについて

課 題	生涯学習等に関わる教室・講座の情報を一元的に分かりやすく提供する仕組み、体制が必要。
-----	--

シニア層も参加できる各種教室・講座は数多く開催されているが、市政だよりなど限られた媒体での情報提供となっている。

また、シニア層の各種教室・講座への参加意向は高いものの、教室や講座の情報発信や充実を求めており、シニア層には、必要な情報が届いていない状況にあ

る。そのため、各主体が実施している各種教室・講座について、一元的に情報を集約し、分かりやすくシニア層に提供する仕組みや体制が必要である。

また、既存の教室・講座は、一般市民向けの趣味や教養のプログラムであるため、シニア向けのプログラムやシニア層の充実した生活を支援（資金計画や生活サポートなど）するための支援プログラムが必要である。

(4) 健康づくりについて

課 題	健康づくりに関わる取り組み、教室・講座等の情報を一元的に分かりやすく提供する仕組み、体制が必要。
-----	--

健康づくりに関わる施策や事業は、目的に合わせて各課それぞれで実施されており、相互の関連性を持った取り組みがなされていない状況にある。また、老人クラブなどにおいて、各地域におけるスポーツ活動も実施されている。

一方で、健康については、「生きがい」の基礎となるもので、シニア層の健康に対する関心は非常に高い状況にある。

そのため、健康づくりに関わる市の取り組みについて体系的な整理を行うと共に、健康づくりに関わる教室・講座、実践の場について一元的に情報を収集し、分かりやすくシニア層に提供する仕組みや体制が必要である。

また、市民の健康づくりを支援する施設として「岡崎げんき館」が整備されているが、一般向けの運動プログラムの提供であり、げんき館の既存プログラムでは対応しきれない高齢者の健康づくりに関わるプログラムが必要である。そのため、本施設で、高齢者向けの運動プログラムの充実を図ることが必要である。

・施設の基本的な性格付け

1. 他自治体における生きがづくり支援に関わる取り組み状況

団塊世代の定年退職（いわゆる 2007 年問題）を契機として、多くの自治体で、団塊世代を対象とした就労支援、地域活動支援、生きがづくり、健康づくりに関わる支援事業が実施されている。

主な事業内容としては、以下の事業を行っている事例が多い。

団塊世代向けのセカンドライフに関わる情報を集約して発信するホームページサイトの立ち上げ。

団塊世代を対象とした講座・講演・イベントの開催による「地域回帰」の支援。
シニア層の抱える様々な悩み、疑問に対応する総合相談窓口の設置。

上記の中で、最も多く実施されているのが、団塊世代のセカンドライフを支援する専用ホームページの開設である。ホームページ内で、開催する講演・講座の案内や自治体の支援事業についての案内、地域の活動団体の紹介など、ホームページを閲覧すれば、シニア層の支援策や取り組みがワンストップで分かるようにしているところが多い。

団塊世代を対象とした講座、講演等については、生涯学習に関わる講座等の開催だけでなく、より積極的な団塊世代の地域回帰のための講座を開催している自治体もある。東京都足立区などでは、セカンドライフの資金計画、団塊世代が地域に回帰するためのノウハウ、仲間づくり、NPO 起業支援などをテーマに定期講座を開催し、団塊世代の「地域回帰」を支援・推進する取り組みを実施している。

また、団塊世代を含むシニア層の総合的な支援を行うために、総合的な相談窓口を設置している自治体もある。埼玉県では、シニア層の悩みや疑問に対して、きめ細かいアドバイスを実施、千葉県では、シニア層の多様な働き方を支援するためのキャリアコンサルタントによる相談等を実施している。

岡崎市においては、団塊世代を始めとするシニア層への積極的・総合的な支援事業はなく、他自治体で実施されている先行事例を参考にしながら本施設整備にあわせたシニア層の総合的な生きがづくり支援を行う事業の展開が望まれる。

次頁以降に、各自治体における取り組み状況を整理する。

他自治体の取り組み状況例

自治体名	東京都足立区						
事業名	団塊世代の地域回帰推進事業（H18からの3ヶ年事業）						
事業内容	<p>団塊世代の方々がこれまで培った知識や経験を生かしながら、地域でいきいきと過ごしていただくことを目的とした事業。</p> <p>セカンドライフ満喫講座の開催（H19）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通コース（資金計画、健康づくり）趣味・教養コース、コミュニティーコース、NPOビジネスコースなど仲間作りやNPO設立支援など多彩なテーマで各2～8回で開催。 <p>定年後を考える-いきがい発掘講座（H20）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康、地域デビュー、起業、NPO設立支援、仲間作りなどをテーマにステップ1～3で開催。 <p>団塊世代のネットワークづくりを支援するホームページの開設及びメールマガジンの発行。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あだち団塊世代情報サイト」を立ち上げ、シニアライフ、仲間作り、NPOビジネスについての情報を提供。 <p>地域や団塊世代の方々の交流及び出会いの場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団塊世代の方々が地域でいきいきと活躍するため、交流機会の提供やネットワーク化の支援。 						
	<p>定年後を考える-いきがい発掘講座（H20）</p> <table border="1" data-bbox="347 1249 949 1809"> <tr> <td data-bbox="347 1249 454 1400">ステップ1</td> <td data-bbox="459 1249 949 1400"> 「人生最大のごほうびが待っている」 「自分のからだときあう健康法」 「年金だけで大丈夫？人には聞けないお金の話」 「自分でデザインするこれからの仕事」 「あなたの想いを実現する人生設計」 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1406 454 1556">ステップ2</td> <td data-bbox="459 1406 949 1556"> 「地域はあなたを待っている突撃！地域活動」 「人生に定年なし！シニアのための起業入門」 「趣味に生きる！仲間がいるととっても楽しい」 「充実した日々を送ろう！“ちょボラ”のすすめ」 「交流会で仲間づくり」 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1563 454 1809">ステップ3</td> <td data-bbox="459 1563 949 1809"> 「円熟世代のいきがい探し、自分探しボランティア&NPO活動で地域デビュー！」 「地域貢献しながら、セカンド・ワーキングNPO流まちのしごとおこしを指南」 「NPO早わかりガイド・入門編」 「NPO早わかりガイド・お金のやりくり編」 「NPO早わかりガイド・宣伝の効能編」 「楽屋裏までお見せします！シニアNPO」 「グループたちあげのツボをおさえて、めざせNPO！」 </td> </tr> </table>	ステップ1	「人生最大のごほうびが待っている」 「自分のからだときあう健康法」 「年金だけで大丈夫？人には聞けないお金の話」 「自分でデザインするこれからの仕事」 「あなたの想いを実現する人生設計」	ステップ2	「地域はあなたを待っている突撃！地域活動」 「人生に定年なし！シニアのための起業入門」 「趣味に生きる！仲間がいるととっても楽しい」 「充実した日々を送ろう！“ちょボラ”のすすめ」 「交流会で仲間づくり」	ステップ3	「円熟世代のいきがい探し、自分探しボランティア&NPO活動で地域デビュー！」 「地域貢献しながら、セカンド・ワーキングNPO流まちのしごとおこしを指南」 「NPO早わかりガイド・入門編」 「NPO早わかりガイド・お金のやりくり編」 「NPO早わかりガイド・宣伝の効能編」 「楽屋裏までお見せします！シニアNPO」 「グループたちあげのツボをおさえて、めざせNPO！」
ステップ1	「人生最大のごほうびが待っている」 「自分のからだときあう健康法」 「年金だけで大丈夫？人には聞けないお金の話」 「自分でデザインするこれからの仕事」 「あなたの想いを実現する人生設計」						
ステップ2	「地域はあなたを待っている突撃！地域活動」 「人生に定年なし！シニアのための起業入門」 「趣味に生きる！仲間がいるととっても楽しい」 「充実した日々を送ろう！“ちょボラ”のすすめ」 「交流会で仲間づくり」						
ステップ3	「円熟世代のいきがい探し、自分探しボランティア&NPO活動で地域デビュー！」 「地域貢献しながら、セカンド・ワーキングNPO流まちのしごとおこしを指南」 「NPO早わかりガイド・入門編」 「NPO早わかりガイド・お金のやりくり編」 「NPO早わかりガイド・宣伝の効能編」 「楽屋裏までお見せします！シニアNPO」 「グループたちあげのツボをおさえて、めざせNPO！」						

自治体名	東京しごと財団																												
事業名	アクティブシニア就業支援センター																												
事業内容	<p>概ね55歳以上の方を対象にした、無料職業紹介所・相談窓口、高齢者の方からの就業相談や、事業主の方からの求人相談を受ける。</p> <p>たくさんの求人情報を自由に閲覧でき、地元の求人情報も豊富にある。NPO、ボランティアなど多様な働き方についての情報も提供している。</p> <p>アクティブシニア就業支援センターは、公益法人（社会福祉協議会、商工会議所、NPO）などが東京都及び地域の区市の支援と国の許可等を受けて開設</p> <p>アクティブシニア就業支援センターでは、ハローワークの公開情報の他、各アクティブシニア就業支援センターが独自に収集した求人情報（約70%が独自収集情報）を提供している。</p> <p>窓口支援センター一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区・市名</th> <th>名称(運営団体)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>練馬区</td> <td>練馬区シルバー人材センターアクティブシニア支援室</td> </tr> <tr> <td>品川区</td> <td>サボしながわ(品川区社会福祉協議会)</td> </tr> <tr> <td>新宿区</td> <td>新宿わくワーク(新宿区社会福祉協議会)</td> </tr> <tr> <td>稲城市</td> <td>はつらつワーク稲城(稲城市社会福祉協議会)</td> </tr> <tr> <td>葛飾区</td> <td>ワークスかつしか(葛飾区社会福祉協議会)</td> </tr> <tr> <td>中央区</td> <td>シルバーワーク中央(中央区シルバー人材センター)</td> </tr> <tr> <td>府中市</td> <td>いきいきワーク府中(財団法人府中市中小企業勤労者サービス公社)</td> </tr> <tr> <td>三鷹市</td> <td>わくわくサポート三鷹(NPO法人シニアSOHO普及サロン・三鷹)</td> </tr> <tr> <td>立川市</td> <td>立川商工会議所無料職業紹介所</td> </tr> <tr> <td>板橋区</td> <td>はつらつシニアいたばし(板橋区社会福祉協議会)</td> </tr> <tr> <td>多摩市</td> <td>ジョブシニア多摩(多摩市シルバー人材センター)</td> </tr> <tr> <td>世田谷区</td> <td>世田谷区シルバー就業相談室(世田谷区シルバー人材センター)</td> </tr> <tr> <td>日野市</td> <td>しごとサポートひの(日野市社会福祉協議会)</td> </tr> </tbody> </table> <p>は、シルバー人材センターのため、60歳以上が対象で、臨時的かつ短期的なもの又はその他の軽易なものに限られる</p> <p>専門の相談員が、求職の申込から就業まで、キメ細かく相談を受ける。</p> <p>アクティブシニア就業支援センターの仕組み</p> <p>求職者と求人社のマッチングのながれ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●無料職業紹介 ●就業相談 ●有償ボランティア、NPOなど地域における多様な働き方に関する情報の提供 	区・市名	名称(運営団体)	練馬区	練馬区シルバー人材センターアクティブシニア支援室	品川区	サボしながわ(品川区社会福祉協議会)	新宿区	新宿わくワーク(新宿区社会福祉協議会)	稲城市	はつらつワーク稲城(稲城市社会福祉協議会)	葛飾区	ワークスかつしか(葛飾区社会福祉協議会)	中央区	シルバーワーク中央(中央区シルバー人材センター)	府中市	いきいきワーク府中(財団法人府中市中小企業勤労者サービス公社)	三鷹市	わくわくサポート三鷹(NPO法人シニアSOHO普及サロン・三鷹)	立川市	立川商工会議所無料職業紹介所	板橋区	はつらつシニアいたばし(板橋区社会福祉協議会)	多摩市	ジョブシニア多摩(多摩市シルバー人材センター)	世田谷区	世田谷区シルバー就業相談室(世田谷区シルバー人材センター)	日野市	しごとサポートひの(日野市社会福祉協議会)
区・市名	名称(運営団体)																												
練馬区	練馬区シルバー人材センターアクティブシニア支援室																												
品川区	サボしながわ(品川区社会福祉協議会)																												
新宿区	新宿わくワーク(新宿区社会福祉協議会)																												
稲城市	はつらつワーク稲城(稲城市社会福祉協議会)																												
葛飾区	ワークスかつしか(葛飾区社会福祉協議会)																												
中央区	シルバーワーク中央(中央区シルバー人材センター)																												
府中市	いきいきワーク府中(財団法人府中市中小企業勤労者サービス公社)																												
三鷹市	わくわくサポート三鷹(NPO法人シニアSOHO普及サロン・三鷹)																												
立川市	立川商工会議所無料職業紹介所																												
板橋区	はつらつシニアいたばし(板橋区社会福祉協議会)																												
多摩市	ジョブシニア多摩(多摩市シルバー人材センター)																												
世田谷区	世田谷区シルバー就業相談室(世田谷区シルバー人材センター)																												
日野市	しごとサポートひの(日野市社会福祉協議会)																												

自治体名	兵庫県姫路市
事業名	生涯現役プロジェクト
事業内容	生涯現役に関する情報提供を目的として「生涯現役ネットひめじ」(HPサイト)を設置し、生涯現役プロジェクト事業を中心とした各種事業、講座等の紹介、生涯現役関連のイベントカレンダー、生涯現役を目指す市民の活動紹介等を実施。
自治体名	千葉県流山市
事業名	地域デビューのための見本市の開催
事業内容	市民活動推進のための事業として、協働まちづくりフォーラムを実施しており、その一環として、NPOなどの市民活動を始めたい方の地域デビューのきっかけの場となるように、「地域デビューのための見本市」を開催。
自治体名	埼玉県
事業名	団塊世代活動支援センター
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中高年世代の方が新たなスタートを切るに当たり抱える様々な悩み、疑問等に対し、一人一人にきめ細かく対応したアドバイス(相談)を実施。 ・「就職」、「起業・コミュニティビジネス」、「地域・ボランティア活動」など、多彩な内容のセミナーを開催し、情報発信を積極的に実施。
自治体名	千葉県
事業名	生涯現役サポートセンター
事業内容	<p>シニア世代の知識・技能・経験を活かした多様な働き方を支援し、企業には、シニア人材活用の相談・情報提供を支援。</p> <p>キャリアコンサルタントによる相談 企業でのシニア人材活用を応援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニア人材活用のノウハウについて、企業の相談を実施、また、シニア人材活用のメリットについての情報発信や企業向けセミナーの開催など、企業同士の交流の場を確保。
自治体名	八王子市
事業名	団塊世代等地域参画支援デスク
事業内容	<p>団塊世代やシニア年代に生きがいを持ちながら地域で活動していただくための支援を行う総合的な窓口として「団塊世代等地域参画支援デスク」を設置。</p> <p>支援デスクでの業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域参画に関する様々な情報の提供。 ・地域参画を希望される市民から相談を受けつけ、コーディネートなどを行う。 ・イベントや講座の開催により、地域参画に関する啓発やきっかけづくりを行う。

2. 市内の高齢者支援施設・市民活動施設の状況

岡崎市には、次頁に示すように多数の高齢者支援施設、市民活動施設が整備されている。

これらの施設においては、本施設の柱としている「就労」「社会参加」「生きがい」「健康づくり」に関わる事業も開催されており、本施設整備に当たっては、これらの施設との役割分担や機能連携が必要になる。

また、市内で開催されている高齢者も参加できる生涯学習講座（定期講座）の開催状況をみると、シニア層が参加可能な定期講座は 170 講座（総講座数は 190 講座）あり、各地域にある「市民センター」が主な会場として利用されていることが分かる。

そのため、本施設整備あたって「生きがいづくり」に関わる生涯学習系の講座は、各地域の「市民センター」等で実施されている生涯学習講座と差別化を図り、よりシニア層向けのプログラムとしての展開が必要である。

市内の生涯学習講座（定期講座）の開催状況

定期講座テーマ	芸術・文化						教養		
	絵画・工芸	書道	舞踏・ダンス	芸能・歌謡	華道	茶道	文学	国際交流・語学	
総講座数	30	17	6	10	10	9	3	15	
シニア層も参加可能な講座数	29	15	5	10	8	7	3	14	
開催場所	岡崎地域職業訓練センター	6				2			
	市民センター	20	14	5	10	6	3	12	
	アイブラザ岡崎	3	1						
	岡崎商工会議所							1	
	岡崎市竜美丘開館 / 岡崎市外国人交流セン							1	
	太陽の城								
	中央図書館								
	額田図書館								
	少年自然の家								
	岡崎公園内 異閣								
	総合体育館								
定期講座テーマ	家庭・生活				参加・体験		健康・スポーツ	合計	
	子育て・家庭教室	料理・被服	手芸・趣味	園芸・農業	工作	自然に親しみ	健康づくり		
総講座数	11	34	8	8	1	1	27	190	
シニア層も参加可能な講座数	11	27	8	8	0	0	25	170	
開催場所	岡崎地域職業訓練センター			2				10	
	市民センター	2	26	8	5		23	141	
	アイブラザ岡崎				1			5	
	岡崎商工会議所							1	
	岡崎市竜美丘開館 / 岡崎市外国人交流セン							1	
	太陽の城	4						4	
	中央図書館	3						3	
	額田図書館	2						2	
	少年自然の家							0	
	岡崎公園内 異閣		1					1	2
	総合体育館							1	1

平成 20 年度前期 「生涯学習情報」から集計

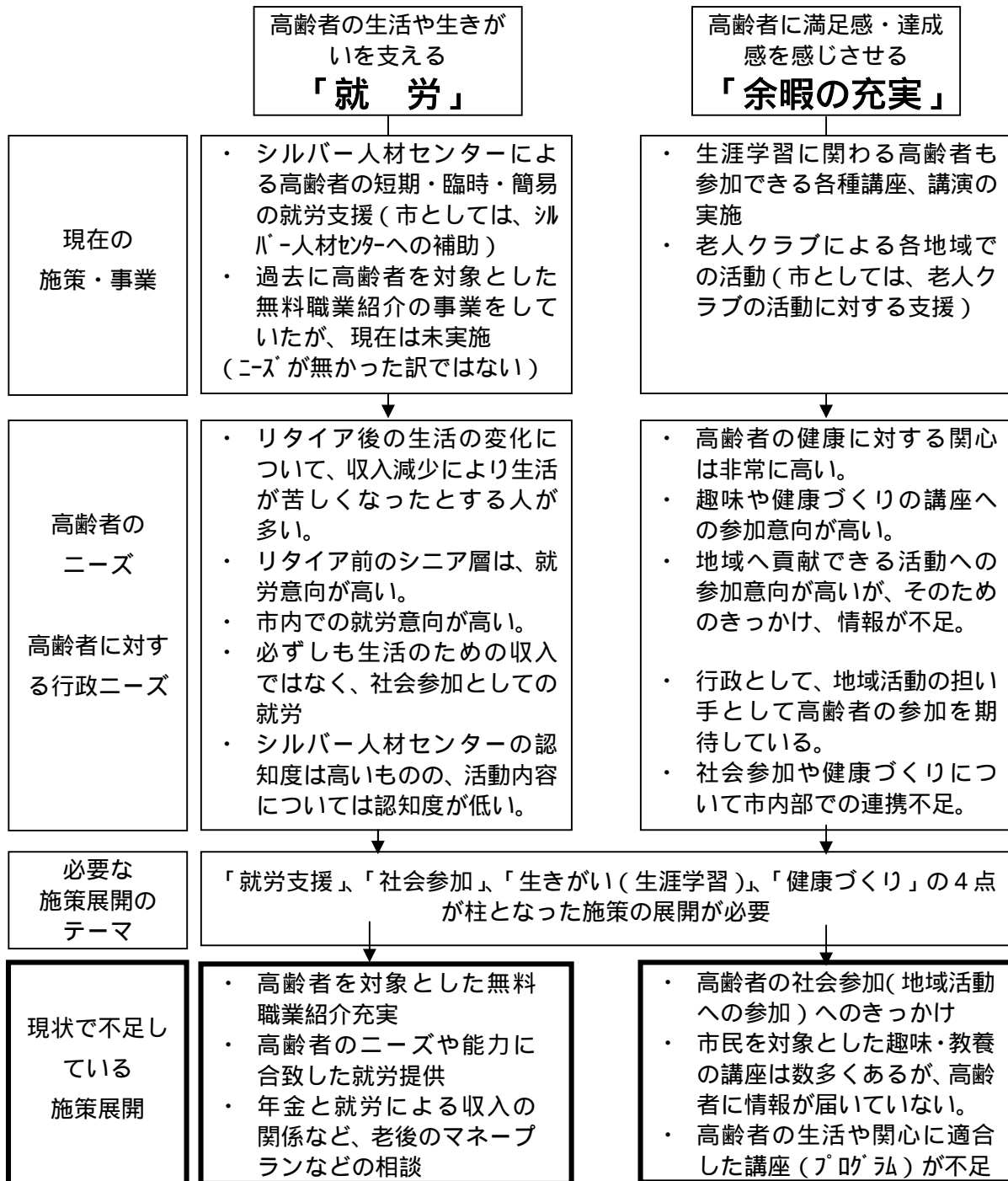
市内の高齢者支援施設、市民活動施設の状況

施設名	目的	サービス事業内容	施設概要	
花園高齢者生きがいセンター	高齢者に就労の場を提供することにより社会参加を促進し、高齢者の福祉の向上を図る	就労支援	シルバー人材センター作業室、休憩室	
岡崎市総合老人福祉センター(高年者センター岡崎)	高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションの場の提供、生活・健康に係る各種の相談に応じるとともに、お互いの親睦と健康で明るい余暇活動を行う施設	健康増進 教養の向上 レクリエーション	集会室、教養娯楽室、浴室、会議室、相談室、図書室、食堂	
	60歳以上の方が、公共機関や企業からの仕事をを行い、生きがいを図る施設。	就労支援	シルバー人材センター	
福祉の村(老人センター清楽荘)	老人並びに障害者及び障害児の福祉を総合的に増進する施設	健康増進 教養の向上 レクリエーション	囲碁、将棋、オセロ、玉突、バンパー、浴室、大広間、和室、浴室、集会室、談話室、娯楽室、相談室	
勤労文化センター	勤労者の文化と教養の向上を図る施設	文化と教養の向上	第1研修室、第2研修室、第1集会室、料理講習室、和室、ホール	
岡崎地域職業訓練センター	いろいろな技能習得のための専門実習棟などを備えた、多様な職業教育訓練の場として(独)雇用・能力開発機構が設置している施設。集会、スポーツ、展示会、その他の催しの場として利用可。	職業訓練	本館棟、多目的実習棟、専門実習棟	
岡崎市図書館交流プラザ(Libra)	子どもから高齢者まで、身体の不自由なカタや小さな子ども連れのかたなど、あらゆる利用者の知的活動と創造的文化活動を支援する生涯学習の拠点	文化活動 生涯学習	図書館、スタジオ、ホール、歴史資料展示室、ジャズコレクション展示室、創作工房、生涯学習センター、市民活動センター、国際交流センター、男女共同参画センター、調理室、会議室	
岡崎市シビックセンター	市民の文化の向上を図るとともに、市民の交流の場とすることを目的とする拠点施設	文化活動	コンサートホール/リハーサル室/交流広場、集会室、南部市民センター、図書室、料理講習室、和室、体育集会室、講習室、岡崎支所、公益民間(公証役場、土地家屋調査士会、司法書士会)	
岡崎げんき館	市民の元気と活力を創造する健康づくりの拠点施設	健康増進	保健所事務室、相談室、健診室・保健指導室、X線室、プール、スタジオ、ジム、ヘルスチェックルーム、おもちゃ図書館、情報ライブラリー、市民ギャラリー、市民活動室、等	
地域福祉センター(老人福祉センター)	高年者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションの場の提供、生活・健康に係る各種の相談に応じるとともに、お互いの親睦と健康で明るい余暇活動を行う施設	健康増進 教養の向上 レクリエーション	中央	教養娯楽室、浴室、相談室、ふれあいホール、休憩・娯楽コーナー
			北部	和室、集会室、浴室、図書コーナー、休憩・娯楽コーナー
			南部	集会室、浴室、休憩・図書・娯楽コーナー
			西部	和室、集会室、浴室、図書コーナー、休憩・娯楽コーナー
			東部	和室、集会室、浴室、図書コーナー、休憩・娯楽コーナー
地域交流センター	市民活動を活性化させることにより市民相互の交流を促進し、活力に満ちた地域社会の実現に寄与する施設	市民交流	北部	ホール、和室、活動室
			南部	調理室、和室、活動室
			西部	市民活動ステーション、活動室、調理室、多目的ホール
市民センター	自主的な学習や文化・教養活動を発展させることを目的にした施設	文化活動	体育室、集会室、和室、講習室、料理講習室 昭和51年六ツ美市民センター開館 以後6箇所開設	
学区市民ホーム	学区住民のコミュニティー活動と、自主的な文化活動の場としての施設	文化活動	会議室、和室、図書室 昭和56年羽根・福岡・矢作北学区市民ホーム開館 以後各学区に市民ホーム開設	

3. 施設の特性分析

本施設の柱である「就労」、「社会参加」、「生きがい」、「健康づくり」に関わる施策や事業は、既実施のものも多い。そのため、本施設では、既実施の施策を充実させ、より積極的な施策を総合的に展開・充実することが必要である。

(1) 本施設が備えるべき特性



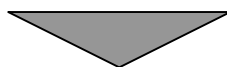
総合的・一体的に展開し、高齢者の生きがいを創出する施設

効果
 不足している施策（高齢者の生きがい創出対策）を新たに総合的に展開・充実することで、高齢者の「老い」を少しでも予防し、高齢化に伴う医療費や社会保障費等の発生を抑える。

(2) 本施設における施策の展開

本施設は、前述の通り、既実施施策・事業では不足しているサービスをシニア層に分かりやすく提供する施設特性を備える必要がある。そのため、本施設では、具体的に、以下のような施策展開を図るものとする。

必要な施策	具体的な方策
シニア層の生活と生きがいを支える就労機会・情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターを活用し、これまでシルバー人材センターが構築してきた企業とのネットワークや就労支援に関わるノウハウを活かして無料職業紹介の充実を図る。 (ハローワークは年齢を限定した就労支援はできない) ・シニア層の経験や技術を活かした就労を実現するため、人材バンクを創設し、シニア層の就労機会の増大を図る。 (上記の取り組みの中で、シルバー人材センターとしても会員の確保がしやすくなるメリットもある)
シニア層の地域回帰への支援策	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア層のリタイア後の地域活動への参加意向は高いものの、地域での仲間、地域活動の情報が不足し、どうすれば地域活動に参加できるか不安に感じている人も多い。そのため、地域回帰のための具体的な支援プログラムを提供し、積極的な地域参加促進の支援を行う。
シニア層の生活・関心に適合したプログラムの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・市民全般を対象とした趣味や教養に関する生涯学習講座は数多く実施されているが、シニア層の生活や関心に対応するプログラムが不足している。 ・介護予防教室の充実が必要であり、開催に適した場所が少ないため、開催場所の確保を行う。 ・県が行っているシルバーカレッジは、人気があり受講のための倍率が高くニーズがある。 ・既存の生涯学習プログラムでは対応できていない、シニア層を対象としたシルバーカレッジの様なプログラムを提供し、シニア層の生きがいづくりを支援する。
シニア層の生活に関わる各種支援を一元的に提供	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア層のニーズに対応した情報や機会を複数箇所を訪れることなく、一元的に提供(ワンストップサービス)し、「ここに来れば解決できる」「ここに来れば安心して教えてくれる」ものとする必要がある。
シニア層の問題解決にきめ細かく対応	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア層の問題解決のための情報提供に際して、インターネットの活用による効率的なサービス提供は必要であるが、IT機器に不慣れなため、自ら必要な情報・機会を検索、入手することが難しい方も多い。そのため、親身に相談ののってくれる総合相談窓口などきめ細かいサービス提供が必要である。
シニア層への情報の総合的・一元的な集約・発信	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア層の生きがいづくりや健康づくりに関しては、既存事業でも数多く実施されているが、各主体それぞれが独自に事業展開や情報発信を行っているため、必要な情報がシニア層に届いていない実態がある。そのため、シニア層が必要とする情報を一元的に集約・発信する必要がある。



高齢者の生きがい創出のための施策の展開にあたって、高齢者の移動困難性を考慮して、できる限り一箇所で分かりやすく提供(ワンストップサービス)し、「ここに来れば解決できる」「ここに来れば安心して教えてくれる」施設とする必要がある。

4 . 施設の基本方針の設定

シニア層の生きがいづくりを担う施設として、本施設の整備及び施設におけるサービス提供や運営に関わる基本的な方針を以下の様に設定する。

方針 1	シニア層のセカンドライフに関わる各種支援をワンストップで提供
------	--------------------------------

シニア層の生きがいづくりを総合的に支援する施設として、シニア層のニーズに対応した情報や機会をワンストップで分かりやすく提供し、「ここに来れば解決できる」「ここにすれば安心して教えてくれる」施設とする。

方針 2	シニア層の問題解決にきめ細かく対応が可能な施設
------	-------------------------

シニア層の方の中には、IT 機器に不慣れなため、自ら必要な情報・機会を検索、入手することが難しい方も多くいる。そのため、face to face で親身に相談に乗ってくれる総合相談窓口機能を持った施設とする。

方針 3	シニア層の生活と生きがいを支える多様な就労機会・情報の提供
------	-------------------------------

シルバー人材センターの持つ就労支援機能やネットワークを活用し、これまで展開できなかった長期雇用の就労支援、シニア層の経験や技術を活かした多様な就労機会・情報の提供を行う施設とする。

方針 4	シニア層の地域回帰のきっかけとなる支援プログラムの提供
------	-----------------------------

シニア層のリタイア後の地域活動への参加意向は高いものの、これまで地域活動への参加が希薄であったために、地域での仲間、地域活動の情報が不足し、どうすれば地域活動に参加できるか不安に感じている人も多いと考えられる。そのため、地域回帰のための具体的な支援プログラムを提供する施設とする。

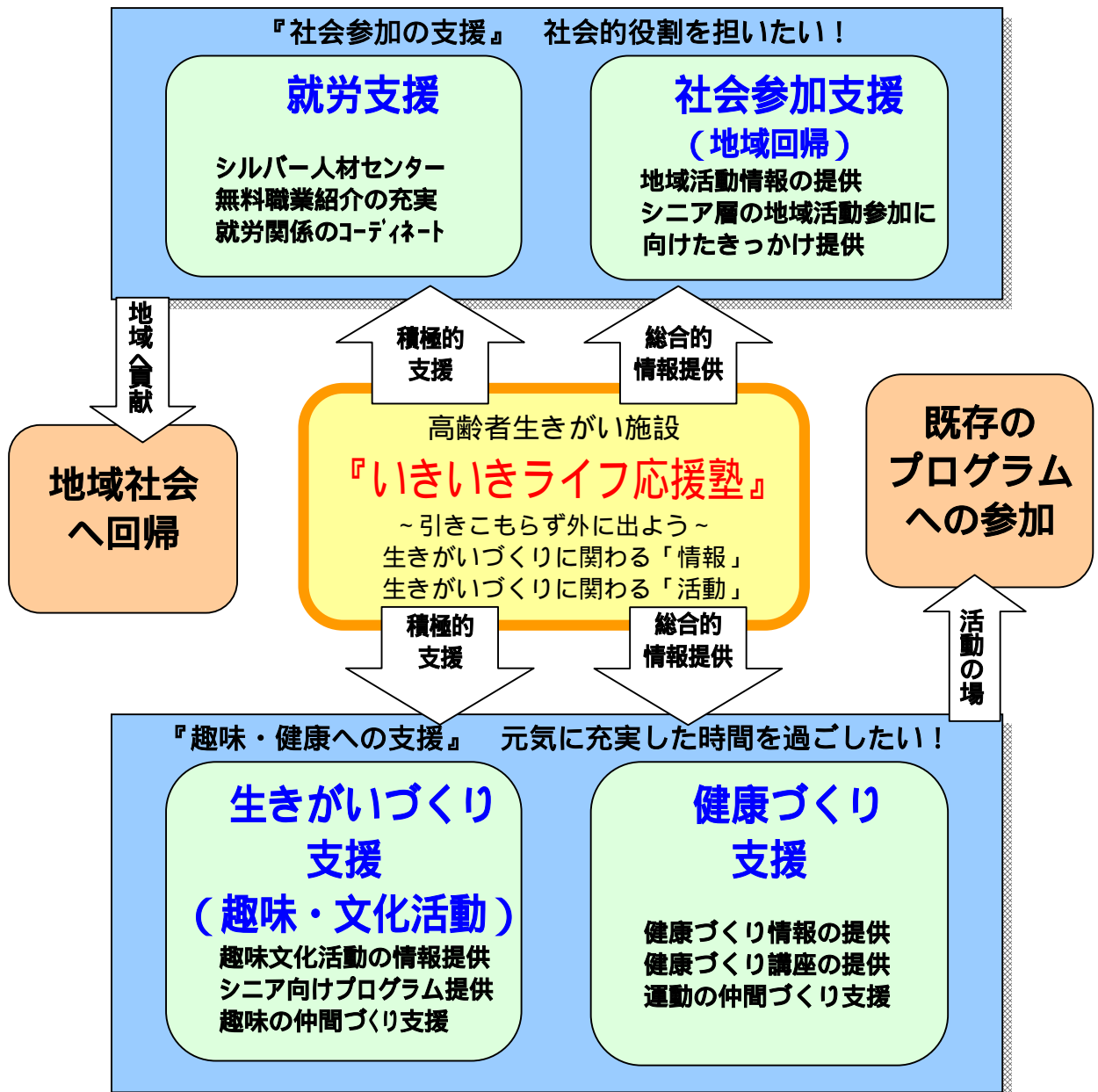
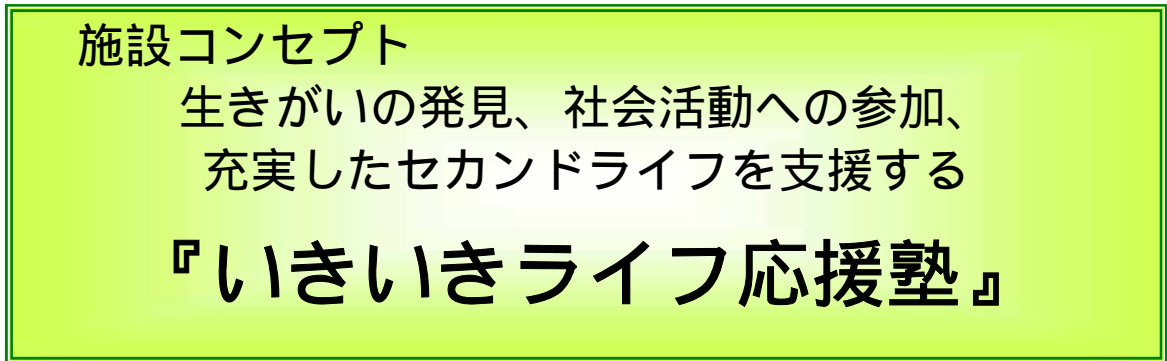
方針 5	シニア層の生きがい、健康づくりに関わる情報の一元的な・発信
------	-------------------------------

シニア層の生きがい(趣味や教養活動)や健康づくりに関わる生涯学習プログラムは、既存事業でも数多く実施されている。しかし、各主体それぞれが独自に事業展開や情報発信を行っているため、必要な情報がシニア層に届いていない実態がある。そのため、シニア層が必要とする情報を一元的に集約・発信する施設とする。

また、既存の各種教室・講座などの事業では展開できていない、シニア層に的を絞った充実したセカンドライフや健康づくりに関わるプログラムを提供する施設とする。

5. 基本コンセプトの設定

本施設をシニア層の生きがいづくりを支援する拠点施設とするため、次のようなコンセプトを持った施設として整備を図る。



6 . 導入機能の設定

(1) 本施設に導入するサービス機能

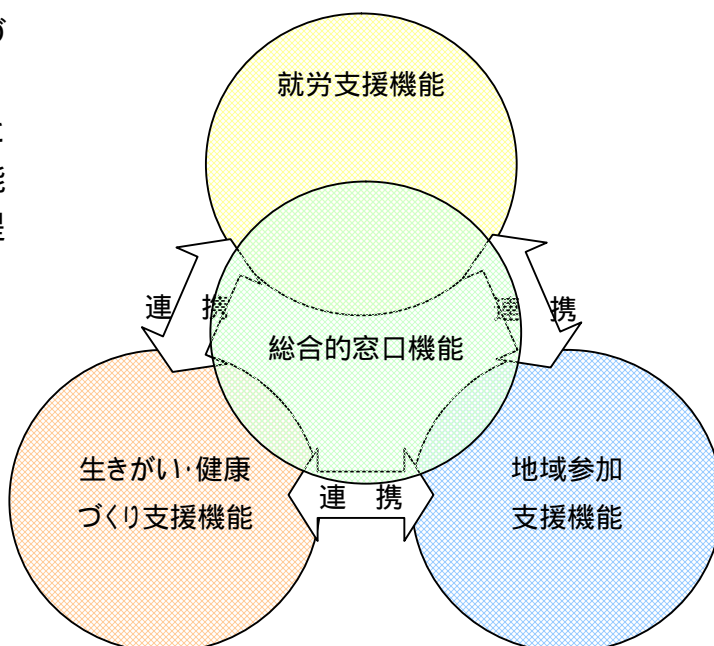
「就労」、「社会参加」、「生きがい」、「健康づくり」の本施設の柱を基本としつつ、本施設の施設特性を踏まえ、本施設に導入する機能を以下の様に設定する。

導入機能	機能導入の目的
【導入機能1】 就労支援機能	・ シニア層への無料職業紹介を含めた積極的な就労支援を充実させ、生活のための就労だけでなく、社会と関わりを持つことで生きがいを感じ、健康を維持する気力を創出する。
【導入機能2】 地域参加支援機能	・ シニア層が地域社会に参加するための機会や情報提供を行い、地域での仲間づくりを支援するとともに、シニア層の地域に貢献したいというニーズへの対応と使命感を持った活動による生きがいを創出する。
【導入機能3】 生きがい・健康づくり支援機能	・ 生涯学習や健康づくりに関わる情報を一元的に分かりやすく提供するとともに、これまでのプログラムでは対応できなかったシニア層の生活や関心に適合した新たなプログラムの提供を行い、充実したセカンドライフを支援する。
【導入機能4】 総合的窓口機能	・ シニア層へ分かりやすく、心のこもったサービスを提供するため、シニア層の生きがい創出のための施策や事業について、一元的に情報提供するとともに、シニア層の生活や活動についての総合相談窓口を設置してワンストップでのサービス提供を行う。

(2) 機能連携イメージ

「就労支援」、「生きがい・健康づくり支援」、「地域参加支援機能」がそれぞれ独立して機能するとともに、総合相談窓口機能が各機能を連携させ、総合的なサービス提供を可能とする施設とする。

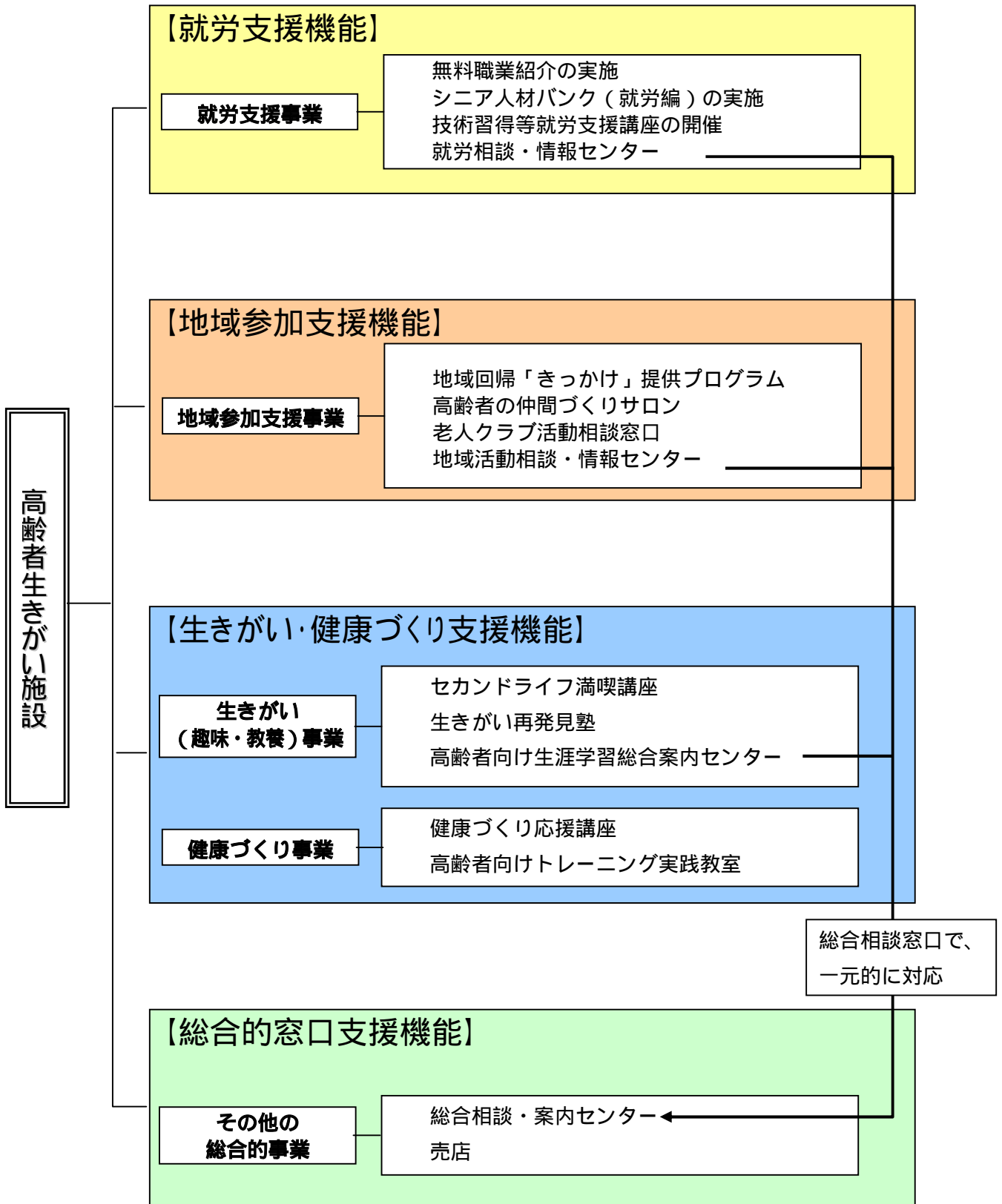
機能連携イメージ図



(3) 機能ごとの導入事業(案)

本施設における施策展開の方向性や機能導入の目的を踏まえ、機能ごとに実施する導入事業を以下のように設定する。

事業メニューについては、今後、施設の供用開始までに検討を行うこととするが、本施設の役割を十分に踏まえた事業内容とする。



(4) 導入事業の具体的な内容

機能ごとに実施する事業の内容を以下に整理する。

導入機能	事業メニュー	事業内容
就労支援機能	無料職業紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・ シルバー人材センターが持つ企業とのネットワークと下記の人材バンクを活用し、高齢者と企業双方へのサービスとして実施する。
	シニア人材バンク(就労編)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業側の求人ニーズとマッチングを図るため、シニア層が自ら「活かせる経験・技術」を登録し、高齢者の就労ニーズに対応する。
	技術習得等就労支援講座	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、シルバー人材センターで十分に実施できていない、就労に向けた技術習得のための講座を開催する。
	就労相談・情報センター	<p>就労相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シルバー人材センターの会員・非会員を問わず、就労希望の方の意向の把握や希望者の意向に合わせた仕事紹介等の相談に対応。(無料職業紹介、シニア人材バンク(就労編)の事業と合わせて実施) ・ シルバー人材センターだけでなく、定期的(月1回程度)にキャリアコンサルタントによる相談会を開催し、専門的見地からの相談に対応。 <p>セカンドライフのマネープラン相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的に(月1回程度)就労に伴う年金の扱いや老後の資金計画など資金面での高齢者の相談に対応。 <p>求人企業情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハローワークの公表情報やシルバー人材センターの独自の求人情報を整理し、パソコンによる求人検索端末の設置による情報提供、紙面での情報提供など求人企業に関する情報を提供する。
地域参加支援機能	地域回帰「きっかけ」提供プログラム	<p>地域回帰支援講座 (市民活動総合支援センター、市民協働推進課と連携して実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シニア層に地域活動への参加のきっかけを提供するため、地域活動に参加することで得られることや岡崎の地域活動団体の状況、地域活動に求められる人材等をテーマに短期講座を開催。 <p>【講座例】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの経験を活かして地域へ貢献 地域づくり・まちづくり講座 求められるボランティア活動・団体 NPO・ボランティア活動体験講座 <p>市民活動団体合同セミナー(市民活動見本市イベント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シニア層に市民活動への参加のきっかけを提供するため、市内で活動する団体を集め、団体や活動内容の紹介を行うセミナーを開催して新規会員等の募集を行うイベント。合同でなく単体の場合もあり。
	高齢者の仲間づくりサロン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設を利用する人のための休憩・交流スペースを確保し、語り合いの中で友達を作ったり仲間同士の親睦を図る。 ・ 情報交換ボード等の設置により、趣味の仲間募集や活動団体の会員募集を行う。
	老人クラブ活動相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老人クラブ連合会理事が、各単位クラブの運営相談に応じる。 ・ 若手会員の加入増を目標に、情報交換、イベントの企画、実施を行う。

導入機能	事業メニュー	事業内容
地域参加支援機能	地域活動相談・情報センター	<p>地域活動参加相談</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動に参加したいシニア層の意向把握や、参加に対する不安への助言、地域活動団体やボランティア、NPO団体の紹介を行う。 <p>活動団体・会員募集情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民協働推進課等と連携し、市民活動団体（自治会、NPO、ボランティア団体等）の活動内容や活動実績、連絡先についての情報を収集整理し、パソコンによる求人検索端末の設置による情報提供、紙面での情報提供を行う。
	生きがい健康づくり支援機能	セカンドライフ満喫講座
生きがい再発見塾		<ul style="list-style-type: none"> シルバーカレッジの様に、複数のテーマについて1年を通して受講し、生きがいの再発見や仲間づくりの場を提供する。
高齢者向け生涯学習総合案内センター		<ul style="list-style-type: none"> 市内で開催されている生涯学習に関わる講座についての情報を収集し、高齢者も参加できる高齢者向けの講座を整理して、講座内容、開催場所、日時等の情報を提供すると共に、本施設での参加申し込みを行えるようにする。
健康づくり応援講座		<ul style="list-style-type: none"> げんき館では対応できない健康づくりに関わる定期講座を開催する。 <p>【講座の例】</p> <p>アンチエイジング健康講座</p> <p>自分の体を長持ちさせる健康法</p> <p>高齢者のための栄養講座</p> <p>毎日続ける運動講座</p> <p>介護予防教室</p>
高齢者向けトレーニング実践教室	<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上の利用に限定（げんき館との差別化）し、シニア層専用の運動教室を開催、健康運動指導士等が指導に当たる。 週1～2回、3ヶ月程度の教室として、家庭にある器具を使った運動メニューについても指導し、家庭内の運動習慣を身につける。げんき館における、一般の運動メニューと怪我や病気からの回復のためのリハビリの中間的なトレーニング教室をイメージ。 	
総合的窓口機能	総合相談・案内センター	<ul style="list-style-type: none"> 本施設に導入する「就労相談・情報センター」「地域活動相談・情報センター」「高齢者向け生涯学習総合案内センター」「高齢者健康づくり・スポーツ案内センター」を一箇所に集約して設置し、総合相談窓口として機能させる。
	売店	<ul style="list-style-type: none"> 福祉施設で作った商品、シルバー人材センター会員による製品をあわせて販売する。

・施設計画の検討

1. 既存施設の活用可能性

本施設の整備に当たって、これまで検討したような機能導入や施策・事業展開を図るためには、以下に示すように新たな事業展開のための「場」を確保する必要がある。

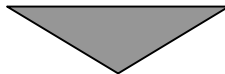
必要な施策	施策実施に当たっての課題
シニア層の生活と生きがいを支える就労機会・情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ シルバー人材センターを活用する必要があるが、現在のシルバー人材センターの活動においても手狭な状況である。 ・ 本来、シルバー人材センターの事業として、就労・仕事につながる講座・研修の開催を充実させたいが、開催場所の確保が困難で、愛知県シルバー人材センター連合会が開催する講座の開催場所の確保にとどまっている。高齢者の就労・仕事につながる講座・研修の開催を充実させるためには、シルバー人材センターが管理する講座・研修のための場所が必要である。 ・ 無料職業紹介事業の充実や人材バンクの創設に伴う、人員増強（事務スペースの拡大）相談室の確保、企業資料の閲覧スペース等の新たな空間が必要になる。 <p>新たに場所を確保しなければ、就労支援に関わる施策の実施・充実が困難。</p>
シニア層の地域回帰への支援策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな講座等の開催において、開催プログラムのテーマや対象者の属性に応じて、各地域にある既存施設の活用も含めた展開が必要。 ・ 一方で、既存の生涯学習講座（市民センターがメイン会場）は、定員を超える受講申し込みがあり、講座数の拡大等が必要となる可能性がある。 ・ 定期講座の開催に適した施設（諸室単位で）が飽和状態である。 ・ 介護予防教室の開催に当たって、高齢者が利用しやすい開催場所が少なく、場所の確保が必要。
シニア層の生活・関心に適合したプログラムの提供	<p>既存施設の活用だけでなく、シルバー人材センターの新たな場所の確保に合わせて、独自にプログラム展開ができる会場の確保が望ましい。</p> <p>シルバー人材センターの研修室等を利用し、独自プログラムの開催場所を確保</p>

**シニア層の生きがい創出のための施策展開には、
新たな「場」の確保が必要**

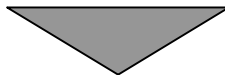
前述の通り、新たな事業展開のためには「場所の確保」が必要である。

以下に示すように、活用可能性のある既存公共施設は、事業展開のための必要な空間を確保することが困難で、新たに土地を取得し、新設施設として整備を行うことが必要である。

活用可能性のある既存施設	対応可能性
廃校が予定される額田地区の小学校	<ul style="list-style-type: none"> 交通利便性を考えると立地条件が悪く、高齢者の誰もが使いやすい施設としては不向き。
旧中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> 隣接の美術館が拡張されることが予定されている。
コミュニティーサテライトオフィス	<ul style="list-style-type: none"> 大学と産業界・行政・市民との協調活動が進められており、市が占有することはできない。
新図書館（りぶら）	<ul style="list-style-type: none"> 図書館だけでなくスタジオや調理室など他の施策が充実しており、高齢者だけにターゲットを絞った新たな事業を展開することは難しい。
げんき館	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりに関わる他の施策が充実し、高齢者だけにターゲットを絞った新たな事業を展開するスペースを確保することは難しい。
市民センター等の既存の市民活動施設	<ul style="list-style-type: none"> 講座開催等の場所の1つとしての活用可能性はあるが、シルバー人材センターの機能拡充に対応できない。
地域福祉センター等の既存の高齢者福祉施設	



既存施設の活用では施策展開のための必要な空間を確保できない。



新設施設として「高齢者生きがい施設」を整備する必要がある。

2. 施設整備用地

本施設整備用地とする新たな用地としては、製薬会社跡地（上六名三丁目）を選定する。この用地を活用した本施設の整備を考えた場合、立地条件等から見て以下のような長所があると考えられる。

製薬会社跡地における長所

市の中心部に位置し、幹線道路、バス路線にも近い立地である。

約 3,000 m²の用地確保が見込め、駐車場の整備も可能である。

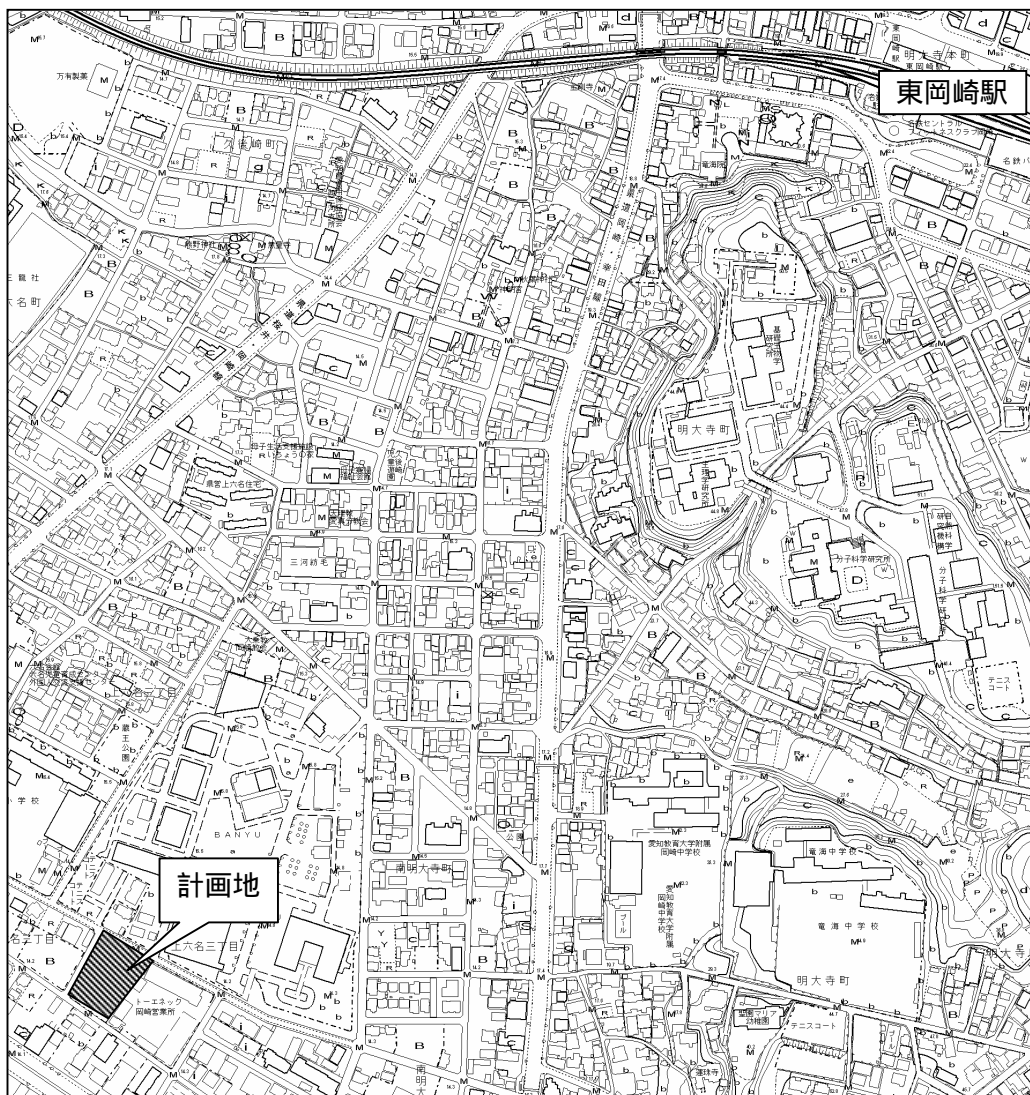
新規施設整備となるため、目的に合った施設を整備できる。

計画地周辺の地元市民より公共施設の設置を求める要望があり、本施設の整備によりその意向を満たすことができる。

(1) 計画地の位置

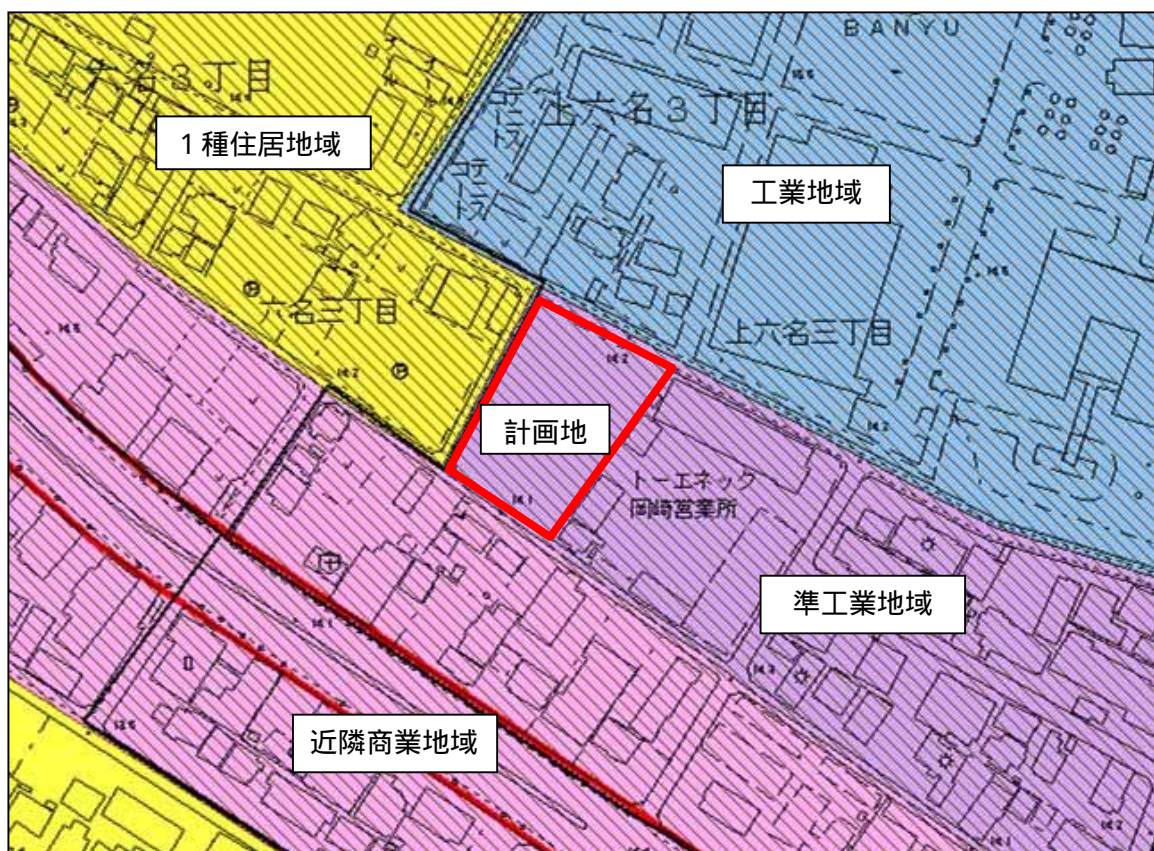
所在地：岡崎市上六名三丁目14番地5

広域図



(2) 計画地の法的規制状況等

用途地域図



出典：都市計画基本図 2006 版を一部加工

法的規制状況

都市計画区域	市街化区域
用途地域	準工業地域
建ぺい率	60%
容積率	200%
高さ制限	無し
地域地区	準防火地域

(3) 計画地の状況

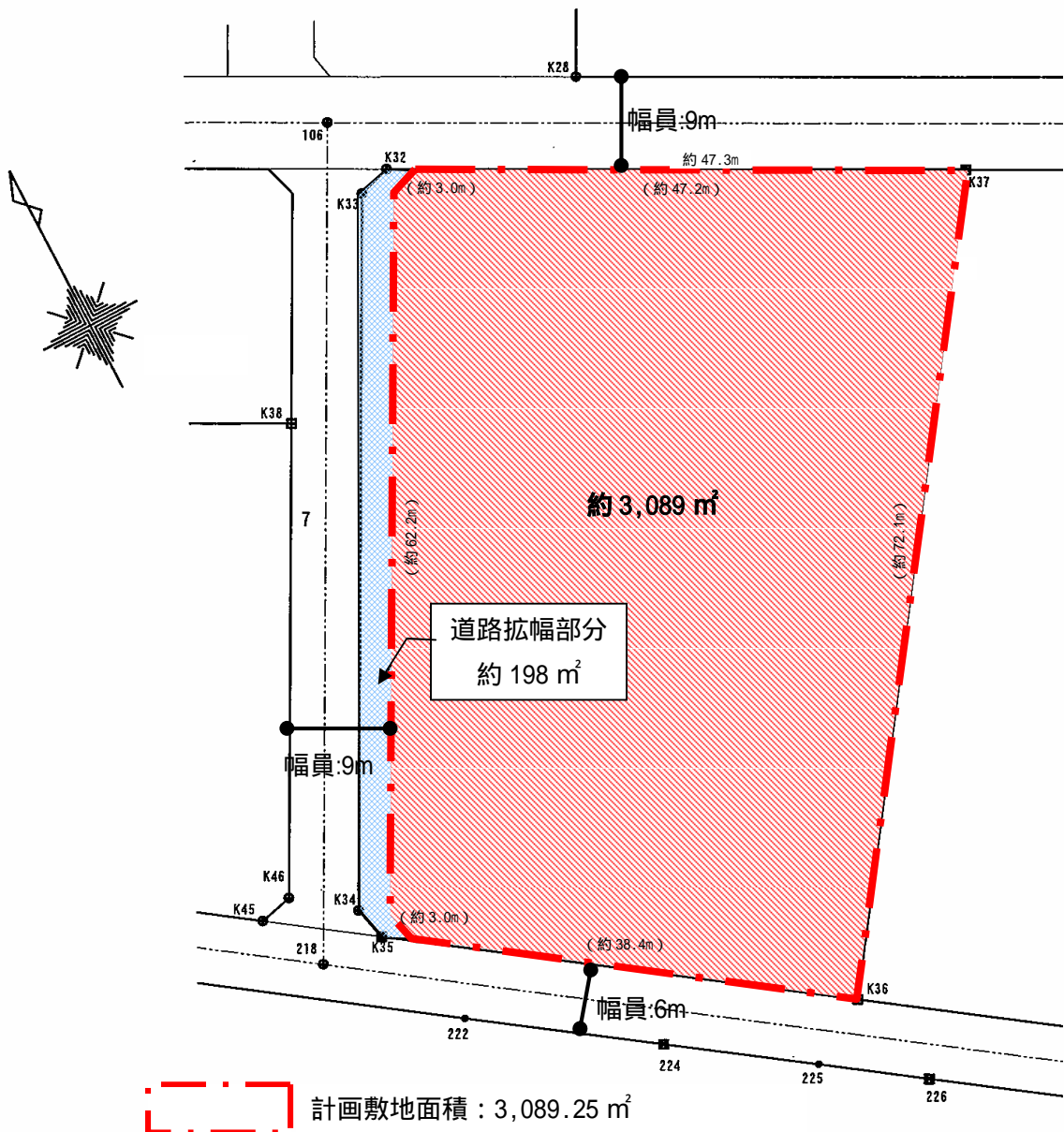
敷地面積：3,089 m²

前面道路幅員：

南側道路：6 m

北側道路：製薬会社跡地の開発に合わせて9 mに拡幅
道路中心線より北側に拡幅

西側道路：製薬会社跡地の開発に合わせて9 mに拡幅
道路中心線より、本計画地側に拡幅



3. 施設規模の設定及び配置構成

(1) 導入諸室及び規模

本施設に必要な諸室及び各諸室の規模を以下のように設定する。

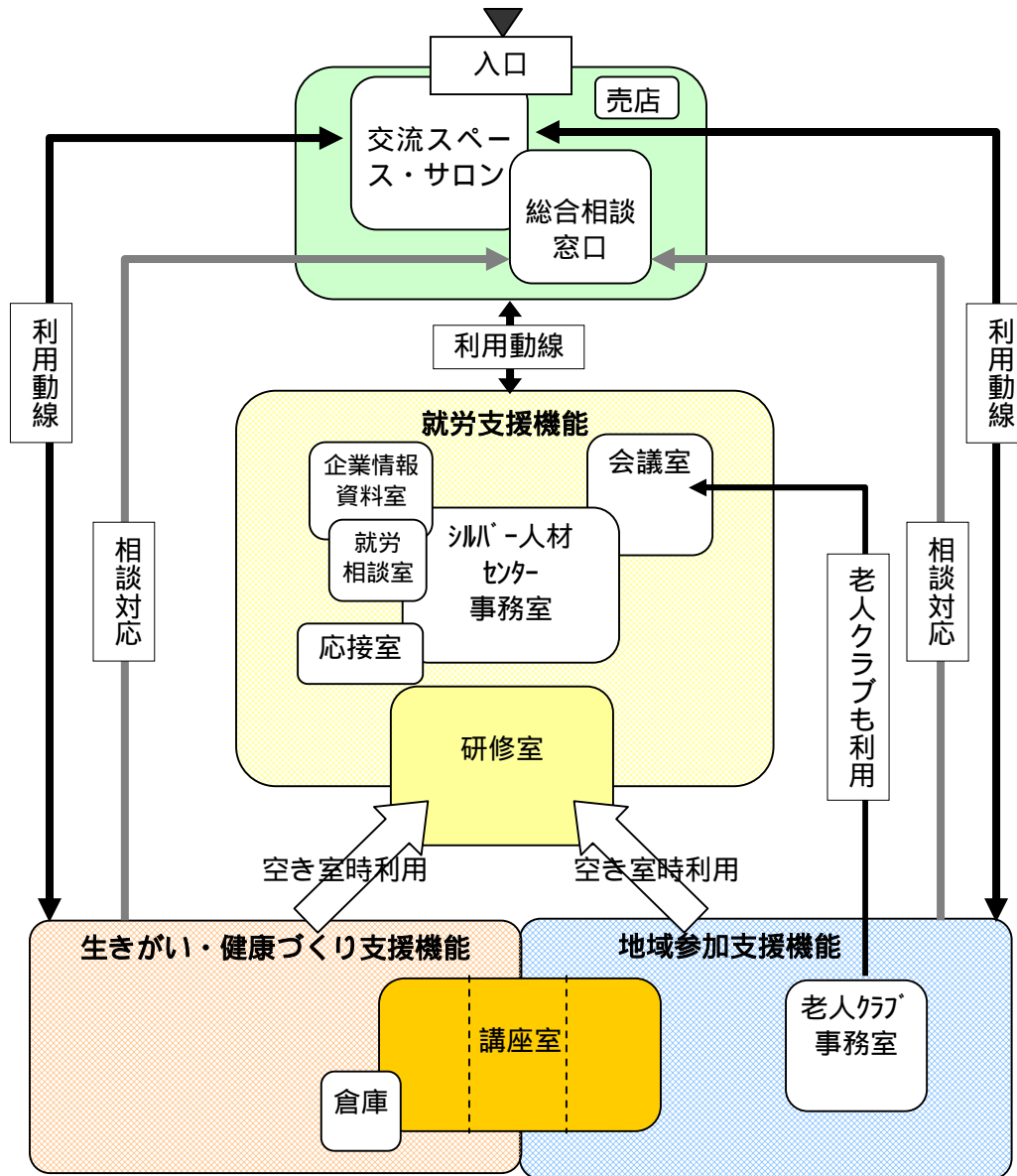
導入機能	必要諸室	必要面積	設定根拠	想定階	
就労支援機能	シルバー人材センター 関連諸室	事務室	150 m ² 程度	現行13人に将来のサービス強化に伴う人員増を考慮し15人程度の職員数に対応した事務室 打ち合わせコーナー含む	1F
		応接室	20 m ² 程度	来客用打ち合わせ用のスペース	1F
		会議室	60 m ² 程度	30人程度が一度に会議ができるスペース。広報部会、業務部会、総務部会、会員相互会等で使用	1F
		事務機器室	10 m ² 程度	コピー、印刷機、紙おり機等を配置し、作業が可能なスペースを確保	1F
		給湯室	5 m ² 程度		1F
		就労相談室(10 m ² × 2)	20 m ² 程度	対面で打ち合わせができる程度の個室パーティションで分割して2部屋としての利用も可能にする(入口2つ)	1F
		企業情報資料室	30 m ² 程度	紙面での資料及び検索端末の設置 端末2台 + 資料用キャビネット + 閲覧用テーブル2つ	1F
		研修室	150 m ² 程度	100名程度で就労研修が可能なスペース 料理実習が可能な施設は想定しない 施設全体で共用する	2F
地域参加支援機能 生きがい・健康づくり支援機能	老人クラブ 関連諸室	事務室	30 m ² 程度	4～5人程度の事務室、打ち合わせコーナー含む	1F
		講座室	80 m ² 程度	40～50名程度が教室型の机配置で研修が可能なスペース 地域参加支援機能の地域回帰「きっかけ」提供プログラム、生きがいづくり支援機能のセカンドライフ満喫講座、生きがい再発見塾等で利用	2F
		講座室	80 m ² 程度		2F
		講座室	80 m ² 程度		2F
		講座室用の倉庫	40 m ² 程度		2F
共用スペース	総合相談窓口	50 m ² 程度	窓口カウンター + 相談室 + 資料コーナー	1F	
	交流スペース・サロン	160 m ² 程度	エントランスホールと一体的に配置	1F	
	売店	30 m ² 程度		1F	
	トイレ・階段・廊下・機械室	330 m ² 程度	延べ床面積の25%程度		
合計		1,325 m ² 程度			

(2) 駐車場規模

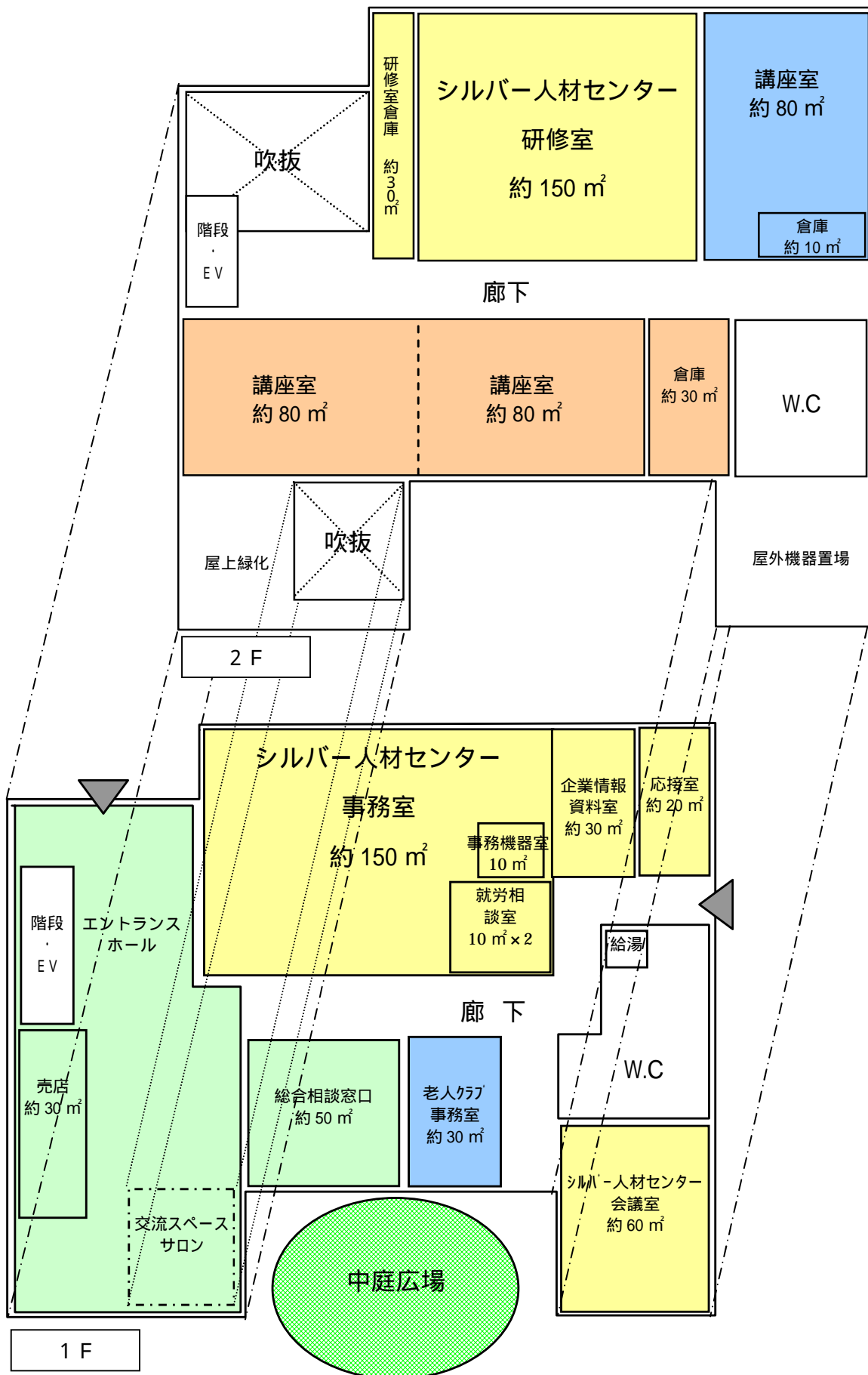
施設整備用地は、市の中心部に立地する土地であり、公共交通機関の利用が可能な場所であるとともに、自転車、オートバイでの来所もしやすい場所である。しかし、自動車での来所も多いと考えられることから、可能な限り駐車場を整備することとし、敷地に対して本施設を2階建て程度の建物を想定した上で、外構部分を屋外平置き駐車場として整備し50～60台分を確保することとする。

(3) 諸室間の機能関連

(1) で設定した諸室構成に対して、導入機能間の連携を踏まえて整理すると以下のようなになる。



(4) 諸室配置構成イメージ



4 . 新設施設として備えるべき基本要件

本施設は、新設施設として整備することから、利用者の視点及び施設の環境性能や長寿命化等に配慮した施設として整備を図る。

そのため、以下のような基本要件を備えた施設とする。今後、実施設計等において、以下に示す事項を十分に配慮した施設設計を行うものとする。

(1) ユニバーサルデザインに関する性能

- ・ 本施設は、高齢者の利用が多い施設であるため、利用者が円滑に利用できるように、高い水準のユニバーサルデザインを有する施設とする。

利用者の円滑で安全な移動に配慮した空間を持った施設

- ・ 施設利用者に対して、的確な案内表示等の提供により、分かりやすい施設とする。
- ・ 同一階においては段差を設けず、床面は滑りにくく、つまずきにくい平坦な仕上げとするほか、必要に応じて手すりを設置する等により、施設利用者が円滑に水平移動できる様に配慮する。
- ・ 建築物の外部及び駐車場においては、歩行者等の安全性及び利便性を優先する。
- ・ 施設利用者の通常利用における出入り口の扉は、高齢者等が容易に開閉でき、安全かつ円滑に通過できる施設とする。
- ・ 階段及び傾斜路は、適切な誘導を行い、安全性及び上り下りのしやすさに考慮する。

利用者が利用しやすい施設

- ・ 所用の動作をしやすいように、十分な空間を確保する。
- ・ 室内の配置構成、家具及び衛生器具等の寸法及び形状等は、多様な施設利用者を考慮し、利用しやすいものとなるよう設定する。
- ・ トイレは、便利で分かりやすい位置に設け、多様な施設利用者を考慮し、必要な機能を確保する。
- ・ スイッチ等は、操作しやすい大きさ、形状等で、操作の方法が分かりやすく、安全なものを操作しやすい位置に設置する。
- ・ 窓口や相談スペース等は、利用者のプライバシー保護に配慮する。

利用者にとってわかりやすい表示システムを取り入れた施設

- ・ 施設案内情報は、理解しやすい内容とし、単純かつ明快に、分かりやすい情報を提供する。
- ・ 動線の分岐点等においては、必要な情報が得られるよう情報を提供する。
- ・ 図記号等については標準的なものを使用するほか、施設内または他の公共施設等との統一性に配慮する。

施設利用者に対する環境からの影響に配慮した施設

- ・ 身体的、心理的に快適性に配慮した光、音、熱、色彩等の環境を有する施設とする。
- ・ 空気調和設備では、温度の個別コントロール、騒音の低減、臭気除去等に配慮した設備を有したものとす。

(2) 環境に配慮した環境負荷の低減に関する性能

長寿命となる施設

- ・ 階高、床面積、床荷重等の余裕度及び間仕切り等の可変性に配慮し、将来の内部機能の変化に柔軟に対応できる設計とする。
- ・ 構造体については、耐久性に優れたものとす。
- ・ 建築非構造部材及び建築設備については、更新、修繕及び補修が容易である設計とする。

省エネルギー・省資源を図る施設

- ・ 省エネルギーに配慮した自然換気、自然光の活用を促す建築計画とする。
- ・ 断熱・日射遮蔽性の高い建具及びガラス、庇などを採用し、熱負荷の低減を図る。
- ・ 建築機器では、高効率照明器具の使用、施設部位に応じた点灯方式の採用など、省エネルギー性能の高いものを採用する。
- ・ 太陽光発電等の新エネルギー機器の導入を検討する。

周辺環境に配慮した施設

- ・ 緑化や水循環の配慮等により、熱負荷の低減を図る。
- ・ 周辺が住宅地であることから、騒音・振動、風害及び光害等、周辺の居住環境の保全に配慮する。

環境にやさしい材料を利用した施設

- ・ 環境負荷の少ない材料を採用し、再生利用しやすい部材の活用を図る。
- ・ 部分的な更新が容易となるように、分解が容易な資材、規格化された材料等の使用を図る。

施設の管理運営方針の設定

1. 各事業の実施主体の想定

機能ごとに実施する各事業の実施主体を以下のように想定する。

導入機能	事業メニュー	事業概要	実施主体
就労支援機能	無料職業紹介	シルバー人材センターの企業とのネットワークと人材バンクを活用し、高齢者と企業双方へのサービスとして実施。	シルバー人材センター
	シニア人材バンク(就労編)	シニア層の「活かせる経験・技術」を登録し、企業側の求人ニーズと高齢者の就労ニーズのマッチングを図る。	
	技術習得等就労支援講座	シルバー人材センターで十分に実施されていない、就労のための技術習得講座を開催する。	
	就労相談・情報センター	<ul style="list-style-type: none"> 就労相談 セカンドライフのマネープラン相談 求人企業情報の提供 	
地域参加支援機能	地域回帰「きっかけ」提供プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 地域回帰支援講座 市民活動団体合同セミナー(市民活動見本市イベント) 	岡崎市
	高齢者の仲間づくりサロン	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者のための休憩・交流スペースを確保。 情報交換ボード等の設置により、趣味の仲間募集や活動団体の会員募集を行う。 	シルバー人材センター
	老人クラブ活動相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> 単位クラブの運営相談 若手会員の加入増を目標として、情報交換、イベントの企画、実施を行う。 	岡崎市老人クラブ連合会
	地域活動相談・情報センター	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動参加相談 活動団体・会員募集情報の提供 	シルバー人材センター
生きがい健康づくり支援機能	セカンドライフ満喫講座	既存の定期講座にはない高齢者の充実したセカンドライフの実現をテーマとした短期講座。(資金計画、教養、健康法など)	岡崎市
	生きがい再発見塾	複数のテーマについて1年を通して受講し、生きがいの再発見や仲間づくりの場とする。	岡崎市
	高齢者向け生涯学習総合案内センター	市内で開催されている生涯学習講座の情報提供と参加受付。	シルバー人材センター 岡崎市
	健康づくり応援講座	げんき館で対応していない健康づくりに関わる定期講座。	岡崎市 (直営又は委託)
	高齢者向けトレーニング実践教室	一般の運動メニューとリハビリの中間的なトレーニング教室。	岡崎市 (直営又は委託)
総合的窓口機能	総合相談・案内センター	「就労相談・情報センター」「地域活動相談・情報センター」「高齢者向け生涯学習総合案内センター」を一箇所に集約して、総合相談窓口として機能させる。	シルバー人材センター 岡崎市
	売店	<ul style="list-style-type: none"> 福祉施設で作った商品や、シルバー人材センター会員による製品をあわせて販売。 自動販売機を設置。 	シルバー人材センター 岡崎市

2 . 管理運営手法

本施設は、「住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設」として「公の施設」となる。

「公の施設」は、地方自治法において「普通地方公共団体は、公の施設の設置の目的を効果的に達成するため必要があると認めるときは、条例の定めるところにより、法人その他の団体であつて当該普通地方公共団体が指定するものに、当該公の施設の管理を行わせることができる」とされており、本施設の管理運営は、地方自治法に基づく「指定管理者制度」による指定管理者が担うか、市が業務委託を活用しながら直営するかのどちらかとなる。

指定管理者制度と直営の業務委託の比較

	指定管理者制度	直営の業務委託
受託主体	法人その他の団体 法人格は必ずしも必要ではない。ただし、個人は不可。 議会の議決を経て指定される。	限定なし 議員、長についての兼業禁止規定あり（地方自治法第92条の2、第142条）
法的性格	<u>管理代行</u> 指定（行政処分）により、公の施設の管理権限を、指定を受けた者に委任	<u>私法上の契約関係</u> 契約に基づく個別の事務または業務の委託
公の施設の管理権限	指定管理者が有する 管理の基準、業務の範囲は条例で定める	設置者たる市が有する
施設の使用許可	指定管理者が行うことができる	受託者はできない
基本的な利用条件の設定	条例で定めることを要し、指定管理者はできない	受託者はできない
不服申し立てに対する決定 行政財産の目的外使用許可 使用料の強制徴収	指定管理者はできない	受託者はできない
利用料金制度	採ることができる	採ることはできない

出典：「岡崎市 指定管理者制度導入に関する基本方針 平成18年2月改訂版」

本施設においては、施設利用の対象となるシニア層のニーズを的確に捉え、必要なサービスを提供する必要がある。そのため、シニア層に対する支援業務のノウハウを持った団体を指定管理者として指定し、施設の運営管理を委ねる方が、コスト、サービス向上の面で望ましいと考える。

指定管理者としては、以下のような理由から、シルバー人材センターを指定し、本施設の管理運営を行うことが望ましいと考える。

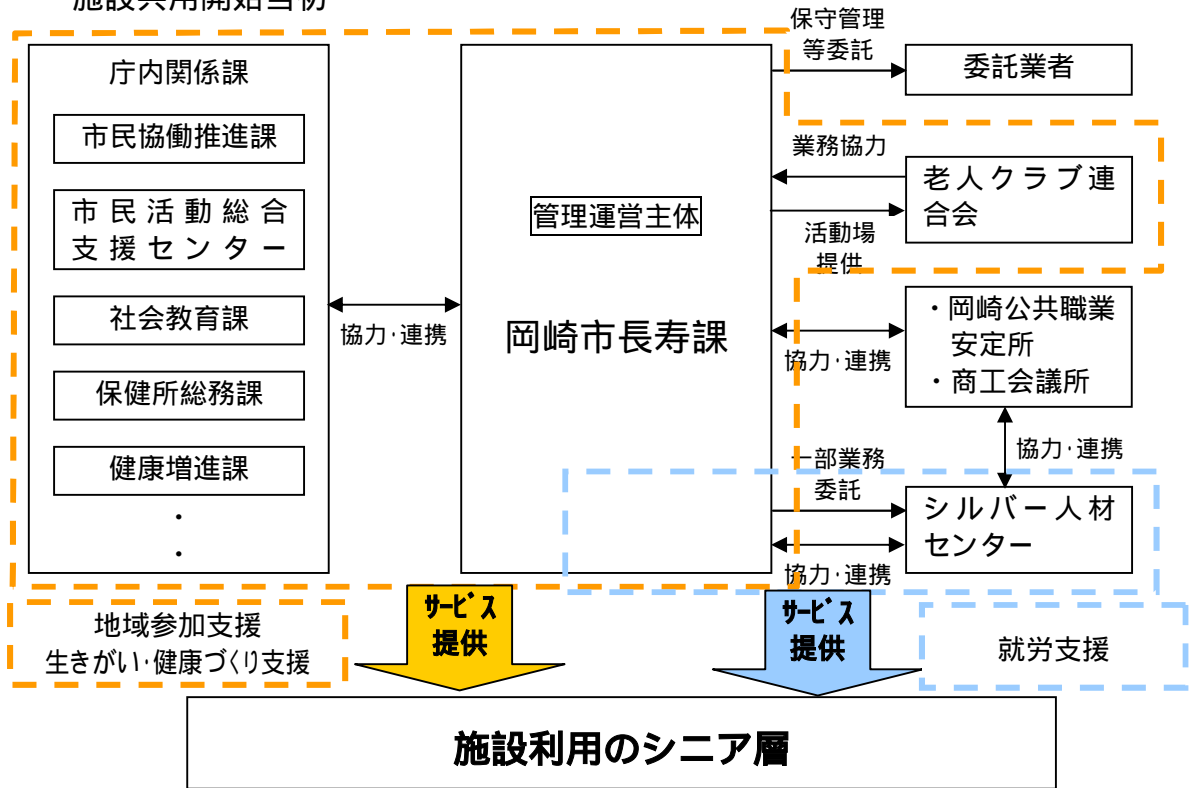
本施設に常駐する団体であること。
シニア層の就労を支援する業務を担ってきており、日常の業務において、シニア層のニーズを捉えたサービスを展開していること。
指定管理に必要な、施設の維持管理に関わる業務をシルバー人材センターの業務として担っており、施設管理のノウハウがあること。
市の関係課と連携が取りやすい立場にあり、本施設で展開する地域参加支援や生きがい・健康づくり支援に関わる業務を、市の関係課と連携して実施しやすいこと。

ただし、本施設は新設施設であり、施設運営に関わる維持管理や運営費用の実績値が無いこと、シルバー人材センターを含め、市において本施設で展開する地域参加支援や生きがい・健康づくり支援について関係課が連携体制を構築する必要があることから、本施設の供用開始後数年は市の直営施設として運営し、その後、指定管理者に施設管理を委ねる事が望ましいと考える。

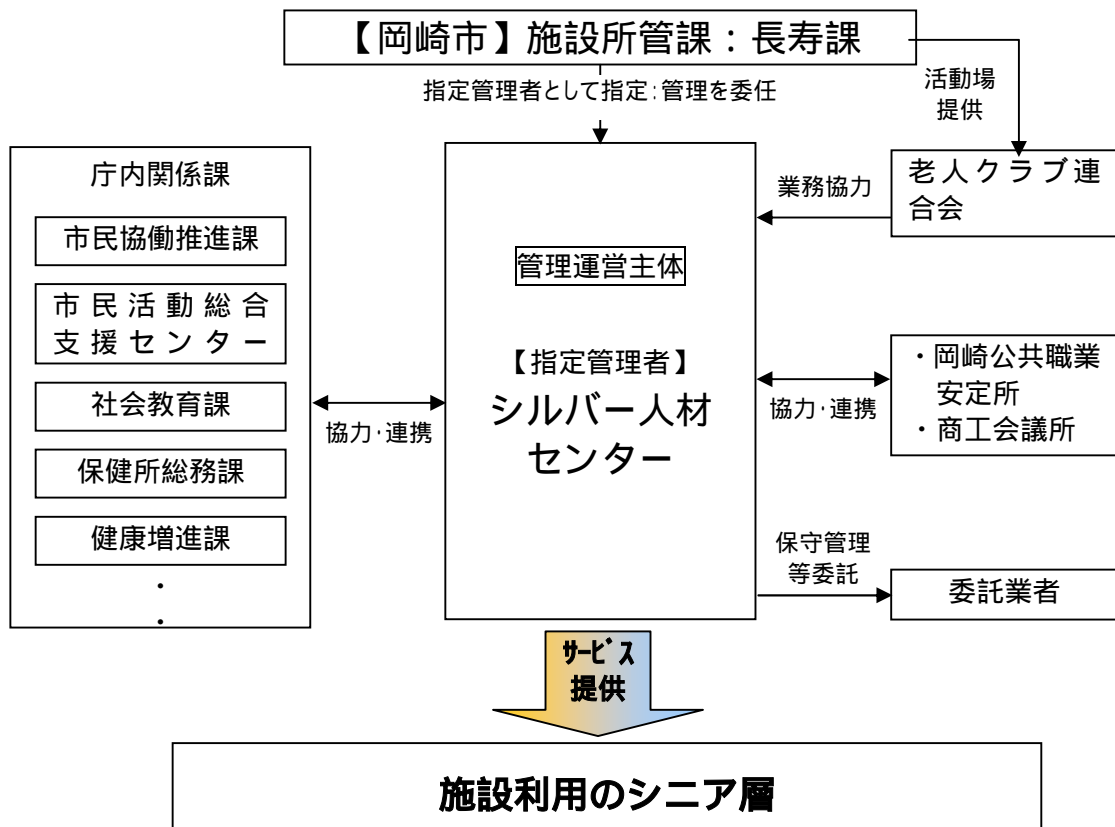
3. 施設運営体制

施設供用開始後数年は市の直営施設として運営し、その後、シルバー人材センターを指定管理者として指定管理者制度の導入を想定する。

施設共用開始当初



指定管理導入後



4. 講座運営についての検討

(1) 講座内容及び開催頻度の想定

本施設における講座運営についての検討を行う。講座内容及び各講座の開催頻度を以下のように想定する。

機能	講座名	講座・相談会等の内容	開催頻度の想定
就労支援機能	技術取得就労支援講座	シルバー人材センターが、センターの事業として行う就労のための技術習得のための講座を開催。	月1回 【年12講座】
	キャリアコンサル就労相談会	キャリアコンサルタントによる相談会を開催、専門的見地からの相談に対応。	月1回 【年12相談会】
	マネープラン相談会	就労に伴う年金の扱いや老後の資金計画など資金面での高齢者の相談に対応	月1回 【年12相談会】
地域参加支援機能	地域回帰支援講座 (市民活動総合支援センター、市民協働推進課と連携)	地域活動への参加のきっかけを提供するため、以下の様な短期講座を開催 【講座例】 ・これまでの経験を活かして地域へ貢献 ・地域づくり・まちづくり講座 ・求められるボランティア活動・団体 ・NPO・ボランティア活動体験講座	週1回 (1講座全5回) 年間5講座を2クール開催 【年50講座】
	市民活動団体合同セミナー	市内で活動する団体を集め、団体や活動内容の紹介を行うセミナーを開催して新規会員等の募集を行うイベント。	年2回
生きがい・健康づくり支援機能	セカンドライフ満喫講座	既存の定期講座にはないシニア層の充実したセカンドライフの実現をテーマとした以下の様な短期講座を開催 【講座の例】 老後の資金計画講座 ・年金の仕組み、年金で生活できるのか ・退職金の安全な運用方法 ・老後に必要なお金は 教養講座 ・歌って元気にカラオケ講座 ・岡崎の今昔歴史・伝統講座 ・地域づくり・まちづくり講座 ・岡崎市の高齢者福祉行政講座	週1回 (1講座全5回) 年間10講座を2クール開催 【年100講座】
	生きがい再発見塾	シルバーカレッジの様に、複数のテーマについて、1年を通して受講し、生きがいの再発見や仲間づくりの場を提供する。	月3回×2クラス (自主活動各クラス月1回含む) 【年72講座】
	健康づくり応援講座	げんき館では、対応できない健康づくりに関わる定期講座を開催する。 【講座の例】 ・アンチエイジング健康講座 ・自分の体を長持ちさせる健康法 ・高齢者のための栄養講座 ・毎日続ける運動講座 ・介護予防教室	週1回 (1講座全5回) 年間5講座を2クール開催 【年50講座】
	高齢者向けトレーニング	健康運動指導士等が家庭にある器具を使った運動メニューについても指導し、家庭内の運動習慣を身につける	月2回 【年24講座】

(2) 年間講座開催スケジュールイメージ

想定した開催頻度に基づいて年間の講座開催スケジュールを検討する。地域回帰支援講座、セカンドライフ満喫講座、健康づくり応援講座については、短期の定期講座を複数開講し、様々なテーマの講座が常時開催されるような運営を行う。

		就労支援機能			地域参加支援機能		生きがい健康づくり支援機能						
		技術取得就労支援講座	キャリアコンサル就労相談会	マネープラン相談会	地域回帰支援講座	市民活動団体合同セミナー	セカンドライフ満喫講座	生きがい再発見塾	健康づくり応援講座	高齢者向けトレーニング			
4月	上旬				講座5回1		講座5回1	講座5回1	講座5回1	講座5回1			
	中旬										講座5回6	講座5回1	講座5回1
	下旬												
5月	上旬				講座5回2		講座5回2	講座5回2	講座5回2	講座5回2			
	中旬										講座5回7	講座5回2	講座5回2
	下旬												
6月	上旬				講座5回3		講座5回3	講座5回3	講座5回3	講座5回3			
	中旬										講座5回8	講座5回3	講座5回3
	下旬												
7月	上旬				講座5回4		講座5回4	講座5回4	講座5回4	月に2回			
	中旬										講座5回9	講座5回4	講座5回4
	下旬												
8月	上旬				講座5回5		講座5回5	講座5回5	講座5回5	定期通年講座			
	中旬										講座5回10	講座5回5	講座5回5
	下旬												
9月	上旬				講座5回1		講座5回1	講座5回1	講座5回1	定期通年講座			
	中旬										講座5回6	講座5回1	講座5回1
	下旬												
10月	上旬				講座5回2		講座5回2	講座5回2	講座5回2	定期通年講座			
	中旬										講座5回7	講座5回2	講座5回2
	下旬												
11月	上旬				講座5回3		講座5回3	講座5回3	講座5回3	定期通年講座			
	中旬										講座5回8	講座5回3	講座5回3
	下旬												
12月	上旬				講座5回4		講座5回4	講座5回4	講座5回4	定期通年講座			
	中旬										講座5回9	講座5回4	講座5回4
	下旬												
1月	上旬				講座5回5		講座5回5	講座5回5	講座5回5	定期通年講座			
	中旬										講座5回10	講座5回5	講座5回5
	下旬												
2月	上旬				講座5回1		講座5回1	講座5回1	講座5回1	定期通年講座			
	中旬										講座5回6	講座5回1	講座5回1
	下旬												
3月	上旬				講座5回2		講座5回2	講座5回2	講座5回2	定期通年講座			
	中旬										講座5回7	講座5回2	講座5回2
	下旬												

(3) 利用者数の想定

本施設の講座等の運営、シルバー人材センター及び老人クラブの定例的な会議開催による月間の利用者数の想定を行う。

利用者数算定の設定

プログラム等	設定
講座	定員に対して8割程度の参加があるものとする。
相談会	開催日当たり30人程度の相談者が訪れるものとする。
市民活動団体合同セミナー	複数団体の合同によるイベント型開催となるため、開催日当たり100人程度の相談者が訪れるものとする。
高齢者向けトレーニング	研修室を活用した開催を想定し、運動スペース確保のため20名程度の定員とし、健康に関してシニア層の関心が高いことから、定員での開講を想定する。
シルバー人材センターの定例会議	理事会開催：月1回（参加者数20人） 分科会：月2回（参加者数15人）
老人クラブ連合会の定例会議	理事会開催：月1回（参加者数15人） 分科会：月2回（参加者数30人）

利用者数の算定

機能	プログラム等	定員数	定員充足率	講座・会議等の利用者数(人/回)
就労支援機能	技術取得就労支援講座	100	80%	80
	キャリアコンサル就労相談会	-	-	30
	マネープラン相談会	-	-	30
	シルバー人材センター理事会	-	-	20
	シルバー人材センター分科会	-	-	15
地域参加支援機能	地域回帰支援講座	40	80%	32
	市民活動団体合同セミナー	-	-	100
	老人クラブ理事会	-	-	15
	老人クラブ分科会	-	-	30
生きがい・健康づくり支援機能	セカンドライフ満喫講座	40	80%	32
	生きがい再発見塾	40	80%	32
	健康づくり応援講座	40	80%	32
	高齢者向けトレーニング	20	100%	20

上記に基づいて講座等利用者数を算定すると、月間で約1,000人程度の利用が見込まれる。

また、各室の稼働日数についてはまだ余裕があるが、地元住民等の利用、一般の生涯学習系講座の開催、愛知県シルバー人材センター連合会が主催する講習会会場としての利用等も想定しており、十分利用される施設になると考えられる。

平成 21 年 2 月発行

岡崎市福祉保健部長寿課

〒444-8601 愛知県岡崎市十王町二丁目 9 番地

0564-23-6149

Mail choju@city.okazaki.aichi.jp

古紙パルプ配合再生紙使用